

活動展開資料



福岡県立社会教育総合センター

〒811-2402

福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

TEL 092-947-3511

FAX 092-947-8029

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>



↑HPからも
DLできます。

2022年 8月

社会教育総合センター 活動展開資料 目次

| | | |
|------------------|----------|----|
| ○集団宿泊活動プログラムの留意点 | ・・・・・・・・ | 1 |
| ○社教センターの体験活動一覧 | ・・・・・・・・ | 8 |
| ○裏山（きずなの森）地図 | ・・・・・・・・ | 9 |
| ○体験活動資料 | | |
| ・フィールド活動（F） | ・・・・・・・・ | 10 |
| ・レクリエーション活動（R） | ・・・・・・・・ | 32 |
| ・自然体験活動（N） | ・・・・・・・・ | 59 |
| ・クラフト（工作）活動（C） | ・・・・・・・・ | 70 |
| ○活動教材等価格表 | ・・・・・・・・ | 85 |
| ○野外活動中の安全対策 | ・・・・・・・・ | 86 |

集団宿泊活動プログラムづくりの留意点



集団宿泊活動において期待できる児童・生徒の成長

「子どもたちの力となる宿泊体験活動にしたい」と考えていませんか？

あるいは、体験活動プログラムを企画する時に「昨年と同じでいいかな」「どんなことをしたらよいか分からない」と悩んだことはありませんか。

集団宿泊活動では、日常とは異なる生活環境の中で、豊かな自然や文化に触れる体験や仲間と協力・協働しながら生活をする体験ができます。具体的な体験やかかわり合いを通して、児童・生徒は感動したり、驚いたり、また、失敗したりしながら、「なぜ」「どうして」と考えを深め、実際の生活や社会、自然の在り方について学んでいきます。五感を通して、様々なことを知る体験的な活動は、児童・生徒の思考を活性化させ、学ぶことの喜びや意欲を生み出すことにもつながります。

そのような集団宿泊活動における学びの効果を高めるためには、指導する側が「教育的効果を高める指導のポイント」をしっかりと押さえながら、計画・実施していくことが大切になります。

体験活動において成長が期待できる児童・生徒の力



教育的効果を高める指導のポイント

1 「ねらい」を明確にしましょう

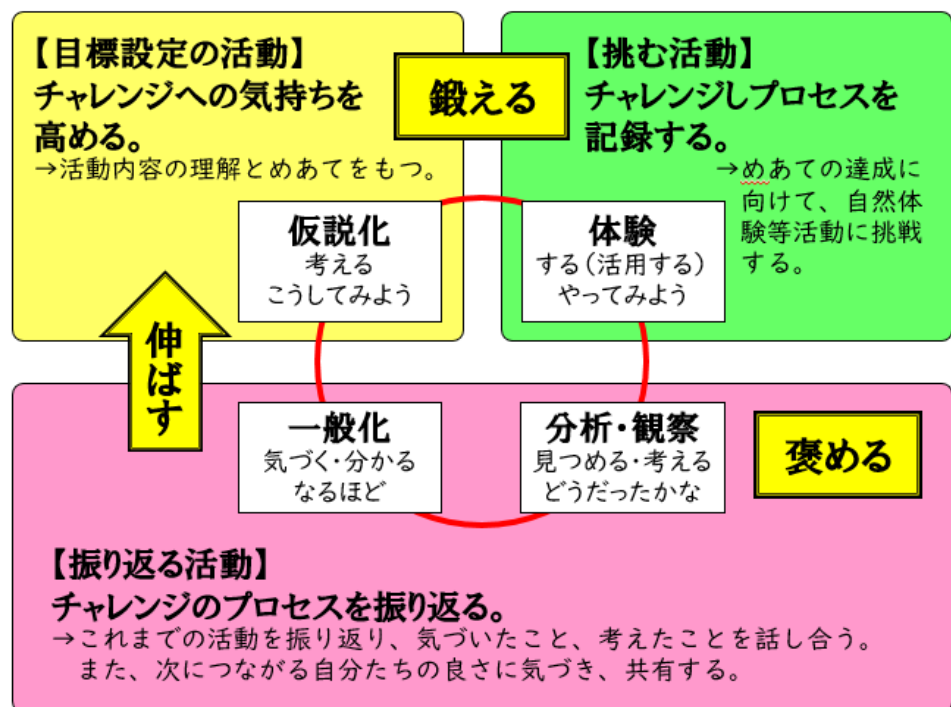
教育的効果を高めるためには、まず指導者の「思い」（伸ばしたい力や感じてほしいこと等）を整理し、「ねらい」を明確にする必要があります。言い換えると、『何のために』その活動をするのかを念頭に置き、『どのように』児童・生徒の成長を促すのかを考えるということです。「ねらい」に即した活動プログラムづくりを行い、プログラムに一貫性（ストーリー）をもたせ、効果を高めましょう。

2 「体験」から学びのある「体験活動」へ

「体験」とは、子どもたちが体全体で対象に働きかけ、かかわっていく活動のことです。「五感（見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れる）」を働かせたり、組み合わせたりして外界の物事や事象に働きかけ、学ぶことです。「体験活動」とは「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験するものに対して意図的、計画的に提供される活動」を指します。つまり、「体験」の教育的効果を高め、「体験活動」にするためには、「ねらい」に沿った指導者の意図的な計画や仕掛けが必要になります。

実施する活動に対して、3つの学習過程を仕組むことが基本です。福岡県が展開している「鍛ほめ福岡メソッド」においても、3つの活動として、達成する目標を決め、活動にチャレンジする気持ちを高める〈目標設定の活動〉、目標の達成に向かって、主体的に活動・挑戦する〈挑む活動〉、活動のプロセスを振り返り、次への意欲をつなぐ〈振り返る活動〉の活動サイクルを基本的な仕組みとしています。

このサイクルを繰り返すことによって、ただ「体験」するだけではなく、「体験」と「学び」がつながり、学びのある「体験活動」へと発展していくと考えられます。また、これによって成功する体験を積み重ねた子どもたちは学び方が習慣化され、自律的に成長するための原動力となる人格的資質が育ちます。



【「鍛ほめ福岡メソッド」を関連させた体験活動サイクル図】

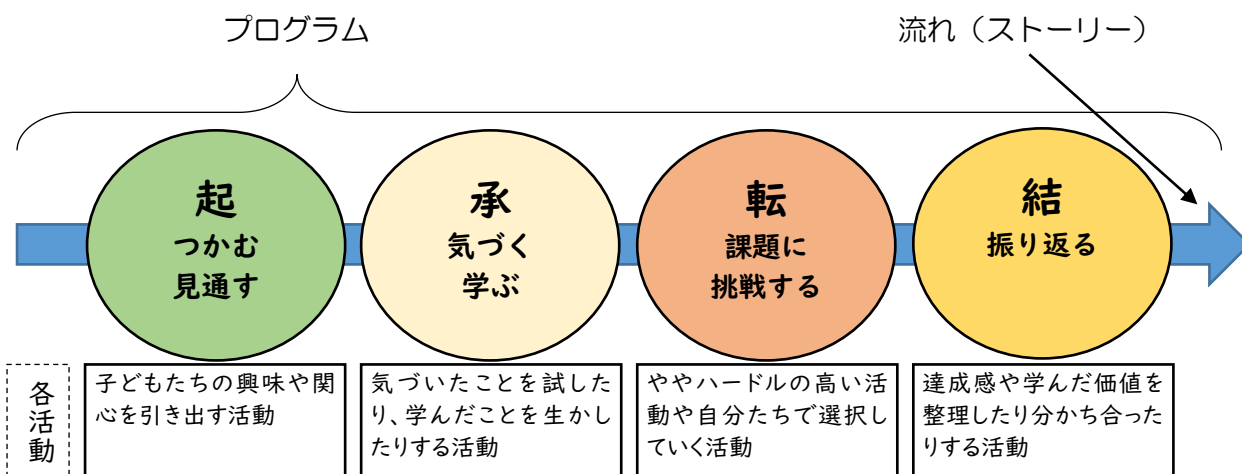
3 全体の流れ（ストーリー）を意識しましょう

集団宿泊活動や体験活動プログラムに慣れていない人は、「せっかく自然体験に来たのだから」と、あれもこれもと活動を詰め込みがちです。たくさん活動を詰め込むと、子どもたちはスケジュールをこなすことに追われ、自分で考えたり、工夫したりして問題を解決する機会を奪われてしまいます。また、忙しすぎるプログラムは疲労の蓄積や注意力の低下を招き、安全面・管理面でもリスクを高めます。

子どもたちの学びの機会を途切れさせることなく、しかも活動が進むにつれて子どもたちの学びが次の活動でも活かされ、深まっていくような活動の流れ（順序）に配慮しながらプログラム全体の構成を整えることが大切です。

プログラム全体の流れを整える手立てはいろいろ考えられますが、一例として「起承転結」という考え方があります。

【プログラムデザイン イメージ図】



このように、単に「やりたい活動」「できる活動」を並べていくのではなく、はじめに「ねらい」達成に向かう全体の流れを整えてから、流れに見合った活動を順序良く当てはめていくことが効果的なプログラムデザインのコツです。

4 「振り返る活動」を大切にしましょう

子どもたちの集団宿泊活動への意欲や気持ちを維持していくためには、「振り返る活動」が大変重要です。チャレンジの結果、目標を達成できた場合は結果だけでも褒めることができますが、達成できなかった場合は気持ちが低下してしまう可能性があります。さらに個人の能力や失敗に原因を求めてしまうのは、本当によくありません。ここで大事なものは、目標達成に向けて努力を重ねた「プロセス」を振り返り、褒めることです。

【「振り返る活動」イメージ図】



「社教センター」利用におけるプログラムデザイン

ここでは、「利用申込書」の書き方とプログラムデザインのこつを紹介します。

【利用申込書（活動計画）】書式

①

利用申込書(活動計画)

※スタッフ記入

□減免

□食数・教材

□アレ(1)

□アレ(2)

福岡県立社会教育総合センター

2021.9.21 改訂

☐ 新規
 ☐ 変更
 フリガナ

フリガナ

フリガナ

法人名にチェックを付けてください
☐ 団体名

代表者

担当者

住所
 ☐ 代表者
 ☐ 担当者
 (記入する住所・連絡先の該当の方にチェックを入れてください)

TEL

1人当たりの参加費
(※宿泊費・食費・交通費は除く)

〒
 ☐ FAX

携帯

☐ 無
 ☐ 有

利用期間
 令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

E-mail

入・退所時刻
 入所
 退所

利用目的等

利用
 幼児
 小学生
 中学生
 高校生
 大学生等
 成人
 動物観察
 指導者
 計
 合計

入庫台数
 大型バス
 中型バス
 小型バス
 自家用車

人数
 男
 女

停め置き
 送迎のみ

●活動計画(スケジュール)には、活動や場所、実施時間等の希望をご記入ください。活動場所等が他の団体と重なった場合は調整となり、変更をお願いすることがあります。

●雨天時の計画や入浴開始時刻の希望も忘れずにご記入ください。

●利用・宿泊人数の変更については、利用日の10日前まで変更可能です。

●つどい(朝・夕)は基本的に参加をお願いします。

備考

| 時刻 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | |
|------------------|----|--|--|----|----|----|--|----|----|----|--|----|----|----|--|----|--|
| 食事・入浴等 ができる時間 | 起床 | つどい NT(15~) | 退所点検(退所日 8:30~) | | | | つどい NT(15~) | | | | 入浴 | | | | 退所 | | |
| 1日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | |
| 月 | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 | 荒天 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| () | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | |
| 月 | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 | 荒天 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| () | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | | | <input type="checkbox"/> 晴内 <input type="checkbox"/> 晴込 | | |
| 月 | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 | 荒天 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| () | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | |

宿泊人数
 男
 女
 計

貸出希望物品

○活動の6週間前までに「利用申込書」「利用料金減免申請書」「食数・教材申し込み票」「食物アレルギー等調査票(様式1)」の4点を一緒に提出してください。

○利用日6週間前まで提出された場合、活動場所・活動時間等の希望に添えかねる場合があります。

○ご記入いただいた個人情報、は、当センターの規程等に基づき適切に管理し、当施設の利用に関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

○送付・送信先 〒811-3501 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2 福岡県立社会教育総合センター (TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029 Email gakusapo@pref.fukuoka.lg.jp)

① 利用団体の基本情報

- 「団体名」は可能な限り、「正式名称」で記入します。
- 「代表者」は、校長名や利用団体の長の氏名、「担当者」は、担任名、利用における担当者名を記入します。
- 「TEL」「FAX」「携帯」「E-mail」は、「担当者」の方の連絡先を記入します。日頃、連絡が付きやすいものを記入してください。プログラム調整時に、センター職員より連絡をさせていただきます。
- 「利用期間」は、予約した期間との相違がないように記入します。
- 「入退所時刻」は、「センター着」と「センター発」の時刻です。あくまでも予定で構いません。
- 「利用目的」は必須です。研修や合宿の目的やねらいを記入します。
- 「利用人数」は記入時のできるだけ正確な人数を記入します。しかし、その後の変更は何度でも可能です。（利用日の10日前12：00までが最終期限⇒「食数」の変更期限）
- 当日のバス、自家用者の台数も忘れずに記入します。「留め置き」「送迎のみ」の欄がありますので、ご注意ください。
- 「備考」欄には、利用についての「要望」や「質問」を記入します。特になければ、空欄で構いません。

② 活動計画

【記入例：「友情・協力」をねらいとした1泊2日キャンプのとき】

| | | 活動1 | | | 活動2 | | | 活動3 | | | | |
|------------------|-------------|--|-------------|-------------------------|--|--------------|---------------------|--|-----------|------------|--|----|
| 時刻 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 食事・入浴等 ができる時間 | 起床 つどい(15～) | 朝食 | | | 昼食 | | | 夕食 | | | 入浴 | 消灯 |
| 1日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | 入所事務 入所式 | スコア ピング | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | スコアピング OG | 野外炊飯 ○人×△G、△人×□G | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | キャンプファイヤー | 入浴 就寝準備 | 宿泊人数 男 女 計 | |
| 雨天 | | | | フォト ピング | <input type="checkbox"/> 野炊 | レクリエー ション | | <input type="checkbox"/> 野炊 | キャンドルのつどい | | 貸出希望物品 | |
| 場所 | | | | | | | | | | | マイク×2 CD ラジカセ ドラムコード | |
| 雨天 | | | | | | | | | | | 雨天時：フラフープ×12、 | |
| 2日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | 退所 点検 | フォトラリー Aコース△G、Bコース□G | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | フォト ラリー | 振り返り 退所式 | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | | | 宿泊人数 男 女 計 | |
| 雨天 | | | | | | | | | | | 貸出希望物品 | |
| 場所 | | | | 仲間づくりプログラム OG | <input type="checkbox"/> 野炊 | 仲間 づくり | | <input type="checkbox"/> 野炊 | | | 雨天時：パイプライン、ジャンボソー 平均台、キーパンチ、 ブラインドスクエア | |
| 雨天 | | | | | | | | | | | 雨天時：パイプライン、ジャンボソー 平均台、キーパンチ、 ブラインドスクエア | |
| 3日目 | 晴天 | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 野炊 | | | 宿泊人数 男 女 計 | |
| 雨天 | | | | | | | | | | | 貸出希望物品 | |
| 場所 | | | | | | | | | | | | |
| 雨天 | | | | | | | | | | | | |

(1) 基本事項

- 当センターで実施する活動や研修は、学校や団体の「自主展開」が基本です。
- 当センターには、全ての利用団体共通の時間帯があります。お互いに気持ちよく過ごすために、順守をお願いします。

| 午前 | 午後 | 夕 |
|---|--|--|
| 「起床」 6:30 「朝のつどい」 7:15～ 「朝食」 7:30～9:00の間 「退所点検」 8:30～ | 「昼食」 12:00～13:00の間 「代表者会議」 16:30～ ※担当者1名以上 「夕べのつどい」 17:15～ | 「夕食」 17:30～19:00の間 「入浴」 17:30～22:00の間 「消灯」 22:30 |

- 活動可能な時間については、一日を3つの時間帯に分けて考えます。基本的には…、
「活動1」⇒午前 9:00～12:00 / 「活動2」⇒午後13:00～16:30
「活動3」⇒午後19:00～21:00 となります。
- 「活動資料」にあるセンターが紹介する活動については、用具等の準備、活動前の説明等は支援します。用具準備のため「人数×グループ数」を記入が必要です。
- 活動と活動の間には、線を引きます。
- 「入所（到着）」「退所（出発）」を表す線は、「太線」で表します。
- 「入所」と「退所」は、9:00～16:30の間で設定します。
- 活動場所は他団体の活動も含めた調整となりますが、利用希望がある場合は記入します。
- 「食事」欄（朝・昼・夕）の該当する口にチェック（レ）を記入します。野外炊飯食材やお弁当注文のときは、「メニュー名」も忘れずに記入します。
- 「入浴時間」も他団体との調整となりますが、「希望時間」を記入します。
- 「貸出希望物品」も忘れずに記入します。
- 宿泊室への入室可能な時間は、清掃や整備の都合上、午後からとなります。

(2) 活動プログラムについて

【記入例：「友情・協力」をねらいとした1泊2日キャンプのとき】

| 時刻 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|------------------|----|----------|---|----------|-------------------------|------------|--|--------------|---------------------|--|-----------|----------|------|----|------|----|----|--|
| 食事・入浴等 ができる時間 | 起床 | つどい(15~) | 退所点検(退所日 8:30~) | | | | | | | | | つどい(15~) | 夕食 | 入浴 | 就寝準備 | 就寝 | 酒灯 | ※宿泊人数をご記入ください。 |
| 1日目 | 晴天 | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | | 入所事務 入所式 | スコア ビンゴ | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | スコアビンゴ OG | 野外炊飯 ○人×△G、△人×□G | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | キャンプファイヤー | 入浴 | 就寝準備 | | | | | 宿泊人数 男 女 計 貸出希望物品 マイク×2 CD ラジカセ ドラムコード 雨天時：フラフープ×12、 |
| 2日目 | 晴天 | | <input checked="" type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | 退所 点検 | フォトラリー Aコース△G、Bコース□G | フォト ビンゴ | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | フォト ラリー | 振り返り 退所式 | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | | | | | | | | 宿泊人数 男 女 計 貸出希望物品 雨天時：パイプライン、ジャンボソー 平均台、キーパンチ、 ブラインドスクエア |
| 3日目 | 晴天 | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | | | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | | | <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 持込 | | | | | | | | 宿泊人数 男 女 計 貸出希望物品 |

○1つの時間帯に入れる活動の数は、「1つ」が妥当です。2～3時間の間で、じっくり取り組む方

が「ねらい」を達成しやすいと考えます。

例①：活動1「スコアビンゴ」11：00～14：30の内訳案

| | | | | | |
|--------|--------------|------------------------|-------------|--------------|----------------|
| 時 | 11：00 | 11：30 | 13：30 | 13：45 | 14：15 |
| 活 動 | 説明 目標設定 等 | 活動開始 ※昼食含む（班ごとに戸外で） | 集合 採点・集計 | 結果発表 振り返り | 移動・次の 活動準備へ |

※「目標設定の時間」や「振り返る時間」、「移動時間」や「休憩時間」等も踏まえて、活動をデザインします。

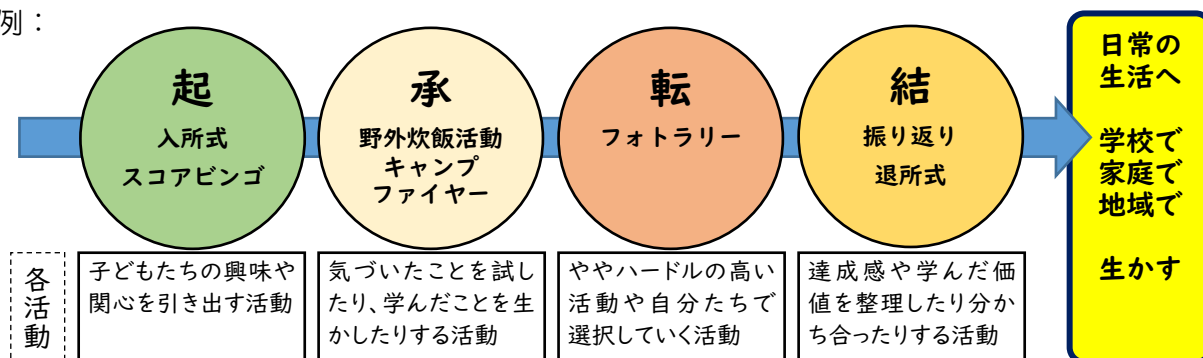
例②：活動2「野外炊飯活動」14：30～19：00の内訳案

| | | | | | | |
|--------|-----------------|-------|-------------|-------|-------------|---------------|
| 時 | 14：30 | 15：00 | 15：30～ | 17：30 | 18：00 | 18：45 |
| 活 動 | 準備・移動 目標設定 等 | 説明 | 活動・調理 開始 | 食事 | 片付け 食器点検 | 振り返り 移動・準備 |

※「野外炊飯活動」は、活動の特性上、より時間が必要となります。

○ねらいに沿った全体の流れ（ストーリー）を意識して、活動をプログラムします。

例：



「入所式」で、このキャンプの目標を設定したり、確認したりして、期待感を高める。
「スコアビンゴ」で、仲間とともに活動するために必要なことをつかむ。

この段階では、役割分担や協働を繰り返しながら、成功体験や失敗体験を積み重ねる。その中で、自分が仲間のためにできることを考える。

これまでの学びを生かしながら、グループの仲間だけで、写真の情報のみを頼りに課題を解決するフィールド活動にチャレンジする。新たな価値を学ぶ。

互いに達成感分かち合い、自分の良さや仲間の良さ等気づいたことや学んだことを整理する。
これからの自分について考える。

社教センターの体験活動一覧

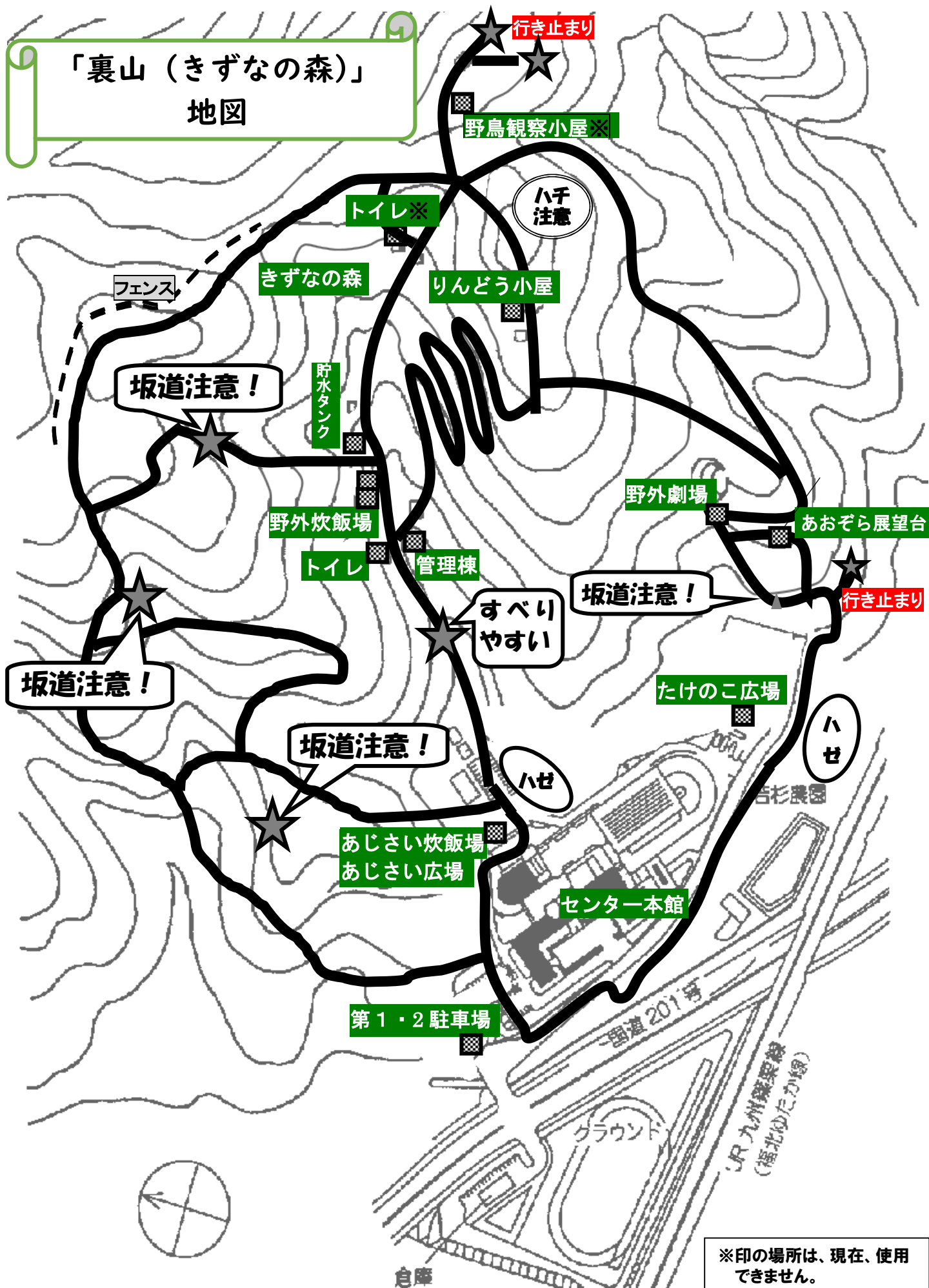
当センターでは、皆様の自主的な研修を支援するために、次のような体験活動を準備しています。条件によっては、実施できない活動もありますので、事前にご相談ください。

【一覧】※最適人数や所要時間はあくまでも目安です。

| | 活 動 | 最適人数 | 所要時間 | ページ |
|------------|-----------------------|-------|--------|-----|
| フィールド活動 | F-1 スコアビンゴ | ～200名 | 2時間 | 10 |
| | F-2 フォトビンゴ | ～200名 | 2時間 | 12 |
| | F-3 ウォークラリー | ～200名 | 2～3時間 | 14 |
| | F-4 登山 | — | 4～7時間 | 16 |
| | F-5 樹芸の森フォトラリー | ～200名 | 3～5時間 | 18 |
| | F-6 樹芸の森ハイキング | — | 3～5時間 | 20 |
| | F-7 篠栗ハイキング | — | 2～5時間 | 22 |
| | F-8 ささぐりさぐり | ～100名 | 3～7時間 | 24 |
| | F-9 きずなの森プログラム | ～100名 | 1.5時間～ | 26 |
| レクリエーション活動 | R-1 キャンプファイヤー | — | 1～2時間 | 32 |
| | R-2 キャンドルのつどい | — | 1～2時間 | 33 |
| | R-3 マ雨イドアクアリウム | ～100名 | 1～2時間 | 42 |
| | R-4 センターワクドキたんけん隊 | ～100名 | 1～2時間 | 44 |
| | R-5 館内ビンゴ | ～100名 | 1～2時間 | 46 |
| | R-6 館内フォトビンゴ | ～100名 | 1～2時間 | 48 |
| | R-7 館内スコアビンゴ | ～100名 | 1～2時間 | 50 |
| | R-8 ボッチャ | ～72名 | 1～2時間 | 52 |
| | R-9 カプラ積木 | ～150名 | 1～2時間 | 54 |
| | R-10 シャキョウレンジャーからの挑戦状 | — | 1時間～ | 56 |
| | R-11 仲間づくりプログラム | ～100名 | 1.5時間～ | 58 |
| 自然・野外活動 | N-1 野外炊飯活動 | ～80名 | 4～5時間 | 59 |
| | N-2 ナイトハイク | — | 1～2時間 | 64 |
| | N-3 星空観察 | — | 1～2時間 | 66 |
| | N-4 火おこし体験 | ～60名 | 1～2時間 | 68 |
| クラフト（工作）活動 | C-1 焼き杉工作 | — | 2～3時間 | 70 |
| | C-2 古代ペンダントづくり（勾玉） | — | 2～3時間 | 72 |
| | C-3 プラホビー（プラ板工作） | — | 1～2時間 | 74 |
| | C-4 しおりづくり | — | 1～2時間 | 76 |
| | C-5 紙すき（はがきづくり） | — | 3～4時間 | 78 |
| | C-6 キャンドルづくり | — | 3～5時間 | 80 |
| | C-7 森のクラフト | — | 2～3時間 | 82 |
| | C-8 紙飛行機づくり | — | 1～2時間 | 84 |


◎クラフトの内容については、上記以外の教材も売店で販売しています。（要事前予約／別紙参照）
荒雨天時用活動として注文していても、「返品不可」（買取）の教材もあります。ご注意ください。

「裏山（きずなの森）」 地図



★：特に注意を要する箇所（下り坂に気をつけましょう）

F-1 スコアビンゴ

| | | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------|--|----------|---|
| 概 要 | ひらがな50音を使ってビンゴカードを作り、仲間と協力して、センター周辺や裏山に隠されたポストを探し、ビンゴを作る活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 |  HP 詳細へ |
| | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | センター周辺・裏山 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | | 人数 | 200名程度まで可能 1グループ5～8名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | | |
| | □バインダー □スコアビンゴ地図 □スコアビンゴカード □解答（指導者用） | | | □筆記用具 □水筒 □タオル □帽子 □リュックサック □救急セット | | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 事前踏査（下見）を行う。 （3） 活動グループの組分けを行う。 | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明、地図、ビンゴカードの見方、記入方法、 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 （2） 「スコアビンゴ」の実施 ①ひらがな50音から好きな文字を24こ選び、ビンゴカードをつくる。 ②地図を見ながら、周り方等の作戦を立てる。 ③地図を頼りにポストを探す。 ④ビンゴカードに書いた文字と同じ文字のポストを見つけたら、ビンゴカードに「ポスト番号」を書く。 ⑤たて・よこ・ななめにビンゴを完成させる。 3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | | | |

F-1 スコアビンゴ資料

スコアビンゴ

令和 年 月 日

| | |
|--------------|-----|
| グループ名 (班) | |
| スタート時刻 | |
| ゴール時刻 | 時 分 |

1. スタート前に、好きなひらがなを若の口の中に書いてください。

例

| |
|-----|
| No. |
| ろ |

2. コースを周って、見つけたポストのひらがなが、解答欄の口に書いてあるとき、そのポストの番号を に入れてください。

例

| |
|---------|
| No. No. |
| ろ |

ビンゴ得点

☆たて・よこ……………10点

☆ななめビンゴ……………25点

☆1ポイント正解するごとに…2点

解答欄

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| No. | No. | No. | No. | No. |
| | | | | |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| | | | | |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| | | | | |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| | | | | |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| | | | | |

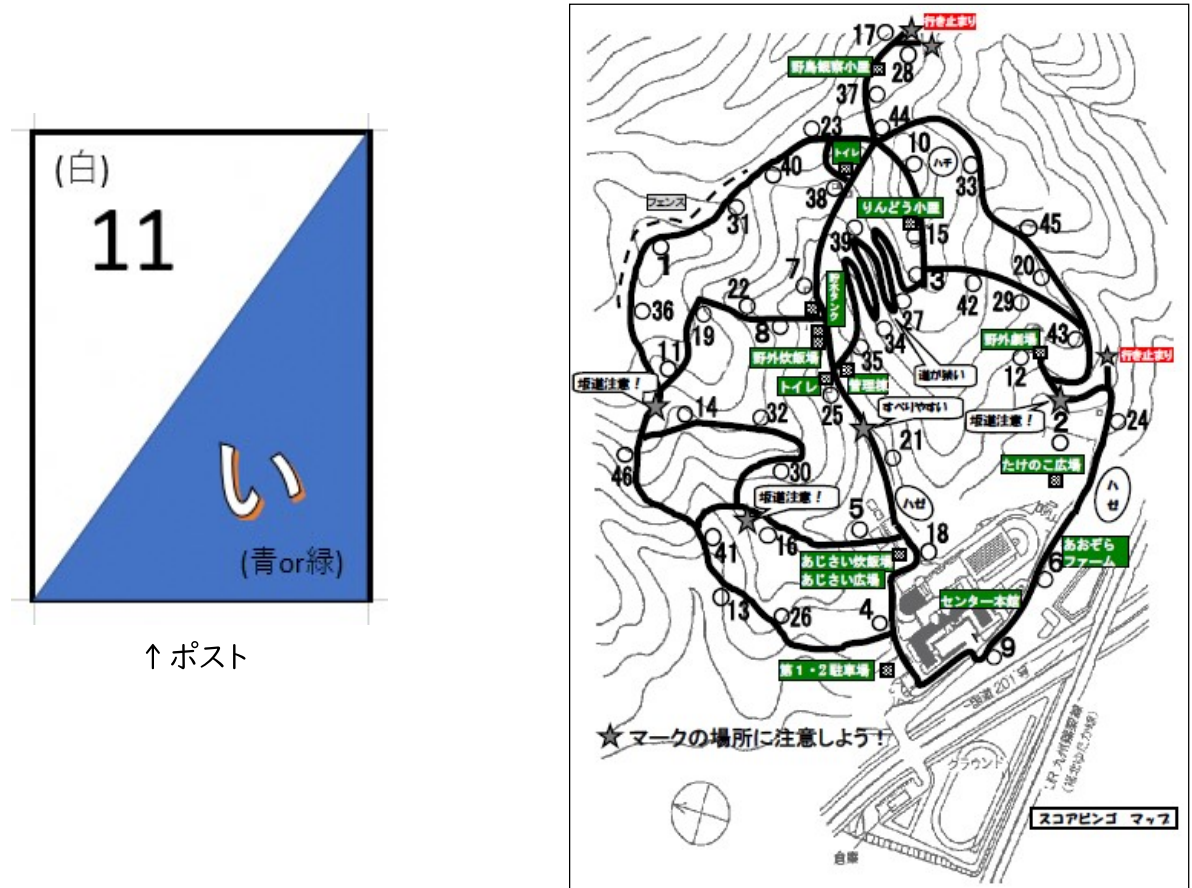
ビンゴ

ポイント

合計

200

↑ スコアビンゴカード



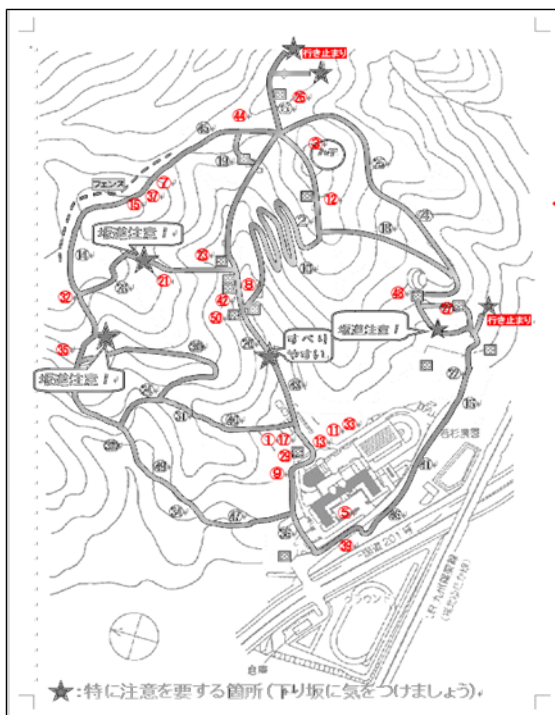
↑ スコアビンゴ地図

F-2 フォトビンゴ

| | | | | | |
|--------|---|-----------|-----------|----------------------------|--------------|
| 概 要 | 裏山やセンター周辺を散策し、フォトマップ上の写真をみつけ、ビンゴを完成させるオリエンテーリング活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | ○ | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | センター周辺、裏山 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | 人数 | 100名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □フォトビンゴカード □フォトビンゴマップ □解答用紙 □解答（指導者用） | | | □筆記用具 □腕時計（各班1つ） □救急セット | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 （2） 「フォトビンゴ」の実施 ①目標（ビンゴの数）や目標時間を設定する。 ②スタート時刻を記入して出発する。 ③フォトマップと構内地図をもとにセンター周辺を散策し、施設や周りの自然の様子を知る。 ④写真の景色や物を見つけたら、周辺地図内の場所番号を解答用紙に記入する。 ⑤目標時間に合わせて、ゴールする。ゴール時刻を記入する。 3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ センター周辺を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。 | | | | |



↑ フォトビンゴカード



↑ フォトビンゴマップ (センター周辺)

| 社教センター・フォトビンゴ | | | 解答欄 | |
|--|-------|---|---------------------------------|--|
| グループ名 (姓) | 年 月 日 | | | |
| スタート時刻 | 時 | 分 | | |
| ゴール時刻 | 時 | 分 | | |
| <p>1 グループで目標をもちましょう。 例:「〇つビンゴを達成する」「みんなで協力する」 「表め合いながら活動する」「1時間で全部見つける」など</p> <p>2 どの順番で回るか、作戦を立てよう。</p> <p>3 「スタート時刻」を記入して、出発しよう。</p> <p>4 写真のものや景色を見つけたら、右の解答欄に「フォトビンゴMAP」上にある場所番号(①～⑮)を書こう。</p> <p>5 ゴールしたら「ゴール時刻」を記入して、指導者(先生)にゴールの報告をしよう。</p> | | | <p>ビンゴ ポイント 合計</p> <p>/ 200</p> | |
| <p>フォトビンゴ・得点について</p> <p>★たて・よこビンゴ.....10点×10ビンゴ</p> <p>★ななめビンゴ.....25点× 2ビンゴ</p> <p>★1ポイント正解することにより 2点×25ポイント</p> | | | | |

↑ フォトビンゴ解答用紙

F-3 ウォークラリー

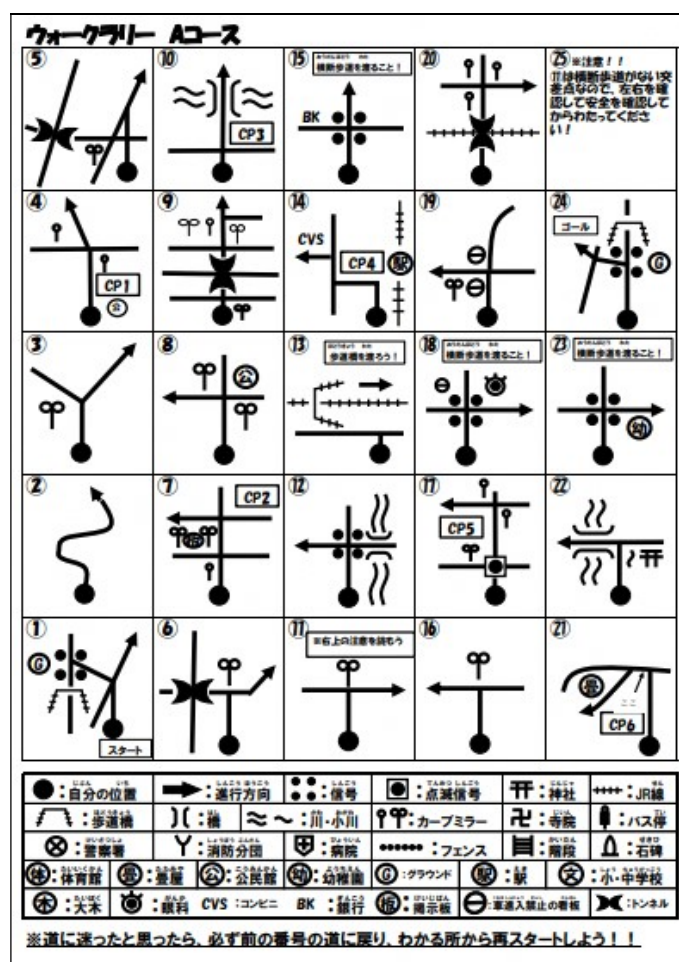
| | | | | | |
|--------|--|--------------------|-----------|--|---------------------------|
| 概 要 | 記号化された地図（コマ地図）を頼りに設定されたコースをまわり、チェックポイントにある課題をグループで協力しながら解決する活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | |
| | | | ○ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 篠栗町内（説明は館外館内でも可） | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 2～3時間程度 ※コースによる | | 人数 | 200名程度まで可能 1グループ5～8名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □コマ地図 □チェックポイント解答用紙 □解答（指導者用） | | | □筆記用具 □水筒 □タオル □帽子 □リュックサック □救急セット □緊急車両 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 事前踏査（下見）を行う。 （3） 活動グループの組分けを行う。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明、コマ地図、チェックカードの見方、記入方法、スタート順の確認、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 （2） 「ウォークラリー」の実施 ①目標時間を設定する。 ②チェックカードにスタート時刻を記入し、スタートする。 ③コマ地図を頼りに、コースをまわる。 ④チェックポイントでは課題に解答する。 ⑤目標時間を想定しながらゴールし、ゴール時刻を記入する。 3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | | |

F-3 ウォークラリー資料

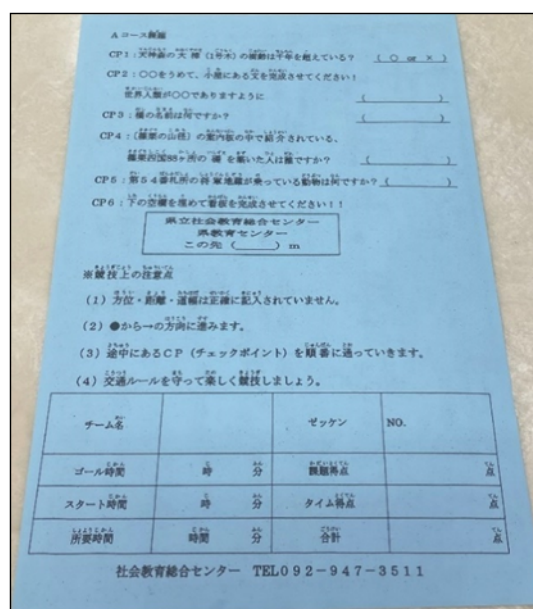
○「ウォークラリー」コースについて

| コース名 | 概要 | 所要時間（目安） |
|---------|---|-----------------|
| A/B コース | 国道 201 号線沿いからクリエイイト篠栗方面へ。篠栗駅、篠栗町市街を通り、センターに戻るコース。 | 90 分間から 120 分間 |
| C/D コース | 金出の交差点から篠栗町市街方面へ。篠栗小やいくつかの寺院、米の山麓の自然を見ながら歩き、再び市街を通過して、センターに戻るコース。 | 120 分間から 150 分間 |
| E/F コース | A/B コースと C/D コースをかけ合わせた長距離コース。 | 150 分間から 180 分間 |

※B、D、F コースは、それぞれ A、C、E コースの逆回りコースになります。




↑ コマ地図 (A コース)



↑ チェックポイント解答用紙
(コマ地図裏面)

※指導者用として、コース地図やチェックポイント問題の解答も用意できます。

F-4 登山

| | | | | | |
|--------|---|-----------------------|-----------|---|--|
| 概 要 | 四季折々の自然の恩恵や厳しさにふれたり、自然の良さを味わったりしながら、仲間とともに若杉山や米の山の頂上を目指す活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | ◎ | | ○ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 若杉山、米の山、若杉楽園、 荒田高原 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 4～7時間程度 ※コースや状況による | | 人数 | 200名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □米の山登山マップ（指導者用） □米の山登山緊急車両ルート（指導者用） | | | □水筒 □タオル □帽子 □軍手 □リュックサック □雨具（かっぱ） □トイレットペーパー □救急セット □緊急車両 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） コースを決定する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 事前踏査（下見）を行う。（実施日と同じ季節が望ましい） | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） 目的地確認、山の歩き方、健康チェック、準備運動、諸注意（安全面） （2） 「登山」の実施（コースの概略） | | | | |
| | コース | 所要時間 | 距離 | 情 報 | |
| | 若杉山 | 180 分 | 5.5km | 標高 678m で山頂には古い由来をもつ太祖神社があり、杉の古木が多く、県の天然記念物太祖杉は有名です。 | |
| | 米の山 | 150 分 | 5.5km | 標高 593.7m で山頂には展望台があり、博多湾、天神などが一望できます。 | |
| | 若杉楽園 | 120 分 | 5.2km | 若杉山の中腹にあり、登山の休憩地として最適で、水場・トイレもあります。 | |
| | 荒田高原 | 90 分 | 4km | 標高 380m の高地で、登山の休憩地として最適で、水場・トイレもあります。 | |
| | 3 事後（片付け） （1） 人員の確認、健康チェック （2） 地図の返却、終了の報告 | | | | |
| | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所、休憩・昼食場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 山頂、またはその付近への弁当の配達が可能です。ご相談ください。 ○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | | |

F-4 登山資料



↑米の山登山マップ(表)



↑米の山登山ルート（裏）

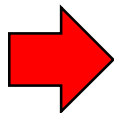
↓米の山登山緊急車両ルート



F-5 樹芸の森フォトラリー

| | | | | | | |
|--------|--|----------------------|-----------|---|----------|---------------------------|
| 概 要 | 写真の情報を頼りに、樹芸の森や鳴淵ダムなど篠栗町の美しい景色や文化に触れながら散策する活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | ○ | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 樹芸の森、弘照院、五塔ノ滝、鳴淵ダム 他 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 3～5時間程度 | | | 人数 | 200名程度まで可能 1グループ5～8名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | | |
| | □バインダー □フォトファイル □フォトラリー解答用紙 □解答 □地図（指導者用） | | | □筆記用具 □水筒 □タオル □帽子 □リュックサック □雨具（かっぱ） □救急セット | | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備）</p> <p>（1） 主旨やルールを把握し、コースを決定する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）</p> <p>（2） 事前踏査（下見）を行う。</p> <p>（3） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ）</p> <p>（1） ルールの説明、フォトファイルの見方、チェックカード記入方法、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2） 「フォトラリー」の実施</p> <p>①目標時間を設定する。</p> <p>②スタート時刻を記入して出発する。</p> <p>③写真の情報を頼りに、景色を楽しみながら順序良く進む。</p> <p>④チェックポイントの課題も解答する。</p> <p>⑤目標時間に合わせて、ゴールする。</p> <p>3 事後（片付け）</p> <p>（1） バインダー・用具の回収、返却</p> <p>（2） 得点の集計、順位の決定</p> <p>（3） 終了の報告</p> | | | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所、休憩・昼食場所などを当日の活動実施までに確認してください。</p> <p>○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。</p> <p>○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</p> <p>○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。</p> | | | | | |

F-5 樹芸の森フォトラリー資料




↑フォトファイル(金出公民館コース)
ルート番号順にヒントとなる写真が
綴じ合わされたファイルです。

迷子防止のため、ガイドとなる矢印も記されています。



フォトラリー (2.金出公民館方面)



| | | | | |
|----------------|-----|--|--|--|
| 学校名 (団体名) | | | | |
| 組・別 (グループ名) | 組 長 | | | |
| スタート 時間 | : | | | |
| ゴール 時間 | : | | | |

①・③……25点
②・④……10点

合計 点

| 問題 | 解答欄 |
|--|-----|
| 問題① 福正公民館に何年生の生徒の 中から何人、その数の中から 何人という希望でしょうか？ | |
| 問題② 何の希望の希望にある 希望の希望でしょうか？ | |
| 問題③ 17歳に達して5年以上 の年齢にある希望の 希望でしょうか？ | |
| 問題④ 希望の希望にある希望に ついてある希望希望 希望の希望希望？ | |
| 問題⑤ 希望の希望希望希望 希望希望希望希望 希望？ | |
| 問題⑥ 希望の希望希望希望 希望希望希望希望 希望？ | |
| 問題⑦ 希望の希望希望希望 希望希望希望希望 希望？ | |

福岡県立社会教育
総合センター
TEL:092-947-3511

←フォトラリー解答用紙
コース内の要所についてのクイズ
にもチャレンジします。

※指導者用として、問題の解答や樹芸の森ハイキングマップも準備できます。

※逆回りの「バイパスコース」も必要なものは同様です。

F-6 樹芸の森ハイキング

| | | | | | | |
|--------|--|---------------|---|---|----------|------------|
| 概 要 | 樹芸の森や五塔の滝、鳴淵ダム等を目的地とし、篠栗町の美しい景色や文化に触れながら散策する活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | ○ | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 樹芸の森、鳴淵ダム周辺各所 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 2～5時間程度 | | | 人数 | 200名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | | |
| | □樹芸の森ハイキングマップ (カラー、白黒あります) | | | □水筒 □タオル □帽子 軍手 □リュックサック □トイレットペーパー □雨具 (かっぱ) □救急セット □緊急車両 | | |
| 展 開 | 1 事前 (当日までの準備) (1) コースや実施方法を決定する。(職員との打合せ、相談、随時受付あり) (2) 事前踏査 (下見) を行う。 | | | | | |
| | 2 活動 (当日の流れ) (1) 目的地確認、歩き方の確認、健康チェック、準備運動、諸注意 (安全面) (2) 「ハイキング」の実施 (目的地案の紹介) | | | | | |
| | 目的地 | | 内 容 ・ 情 報 | | | |
| | 篠栗山弘照院 | | 篠栗四国八十八箇所霊場 87 番札所。境内にはたくさんの小さな堂があり、様々な菩薩様や観音様が祀られています。針ノ耳親子岩も有名。 | | | |
| | 観音公園 | | 桜やつつじが咲き乱れ、植物の四季の変化が楽しめる公園です。体力に自信のない方にも安心なコース。 | | | |
| | 樹芸の森 | | 篠栗の豊かな緑を満喫できる森林公園です。自然散策ができ、休憩する場所やトイレも設置されています。昼食場所として最適。 | | | |
| | 377高地 | | 遊歩道が整備され気軽に登山できます。晴れた日には山頂から博多湾が一望できます。 | | | |
| | 五塔の滝 | | 篠栗耶馬溪の中で、四季を通しての景観がよく、夏は涼しく水遊びもあります。 | | | |
| | 鳴淵ダム清流公園 | | 清流とふれ合える「河川公園」や森林と湖面を見渡せる「やすらぎゾーン」、広大な芝生広場などがあります。 | | | |
| | 3 事後 (片付け) (1) 人員の確認、健康チェック (2) 地図の返却、終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所、休憩・昼食場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 樹芸の森付近、鳴淵ダムへは弁当の配達が可能です。ご相談ください。 ○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | | | |

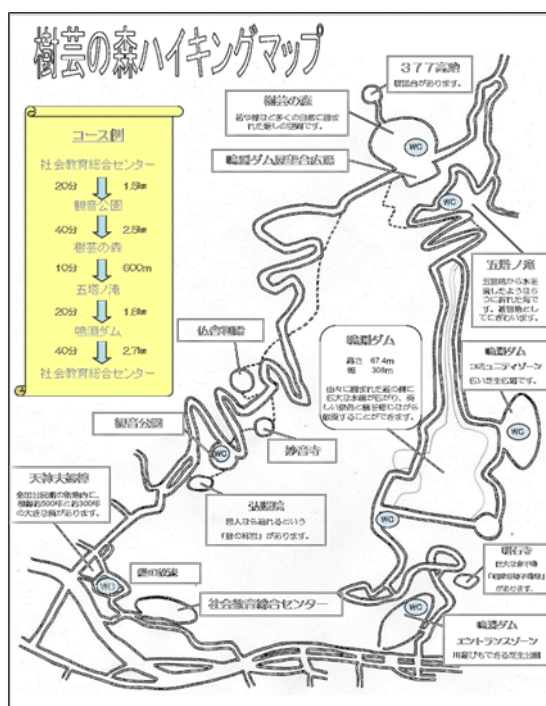
F-6 樹芸の森ハイキング資料



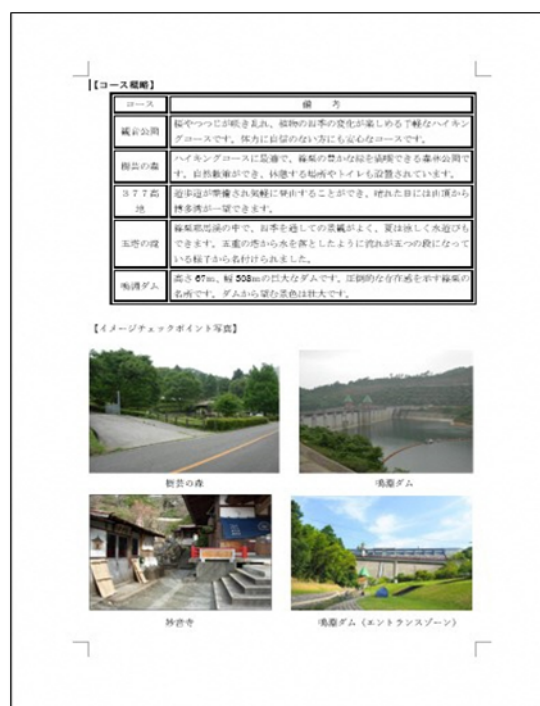
樹芸の森ハイキングマップ |



樹芸の森ハイキングマップⅠ(裏)



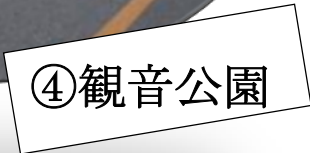
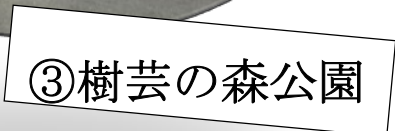
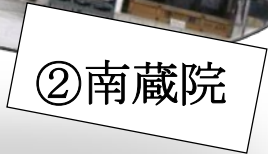
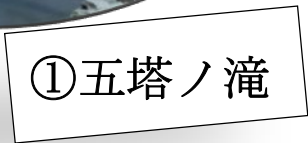
樹芸の森ハイキングマップ2



樹芸の森ハイキングマップ2(裏)

F-7 篠栗ハイキング

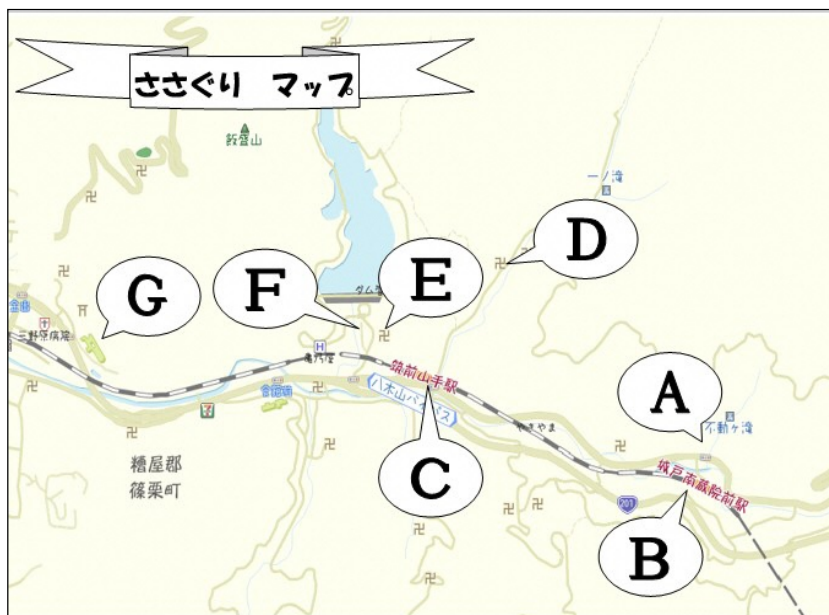
| | | | | |
|------------|--|---|--|--------------|
| 概 要 | 樹芸の森や鳴淵ダム、南蔵院などを目的地とし、篠栗町の美しい景色や文化に触れながら散策する活動 | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | ○ | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | 知識 | 創意・工夫 | |
| | ○ | | | |
| 条 件 | 場所 | 篠栗町各所（下記参照） | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 2～5時間程度 | 人数 | 200名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> 地図 | | <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 帽子 軍手 <input type="checkbox"/> リュックサック <input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> 雨具（かっぱ） <input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 緊急車両 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1）コースや実施方法を決定する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2）事前踏査（下見）を行う。 | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1）目的地確認、歩き方の確認、健康チェック、準備運動、諸注意（安全面） （2）「ハイキング」の実施（目的地案の紹介） | | | |
| | 目的地 | 内 容 ・ 情 報 | | |
| | 観音公園 | 桜やつつじが咲き乱れ、植物の四季の変化が楽しめる公園です。体力に自信のない方にも安心なコース。 | | |
| | 樹芸の森 | 篠栗の豊かな緑を満喫できる森林公園です。自然散策ができ、休憩する場所やトイレも設置されています。 | | |
| | 377高地 | 遊歩道が整備され気軽に登山できます。晴れた日には山頂から博多湾が一望できます。 | | |
| | 五塔の滝 | 篠栗耶馬溪の中で、四季を通しての景観がよく、夏は涼しく水遊びもあります。 | | |
| | 鳴淵ダム 清流公園 | 清流とふれ合える「河川公園」や森林と湖面を見渡せる「やすらぎゾーン」、広大な芝生広場などがあります。 | | |
| | 南蔵院 | 全長41m、高さ11mというブロンズ製では世界一の涅槃像があります。その他、不動明王、不動の滝など見どころもたくさんあります。 | | |
| | 篠栗九大の森 | 約50種の常緑広葉樹と約40種の落葉広葉樹が生育しているおよそ2kmの遊歩道があります。自然を感じながら、散策することができます。 | | |
| 峯尾展望台 | 展望台からは豊かな自然と博多湾まで見渡せる景色を見ることができる地元でも人気の場所です。 | | | |
| 実施の 留意点 | 3 事後（片付け） （1）人員の確認、健康チェック （2）地図の返却、終了の報告 | | | |
| | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所、休憩・昼食場所などを当日の活動実施までに確認してください。 | | | |
| | ○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 | | | |
| | ○ 樹芸の森付近、鳴淵ダムへは弁当の配達が可能です。ご相談ください。 | | | |
| | ○ 自然の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | |

[illegible]

F-8 ささぐりさぐり

| | | | | | | |
|--------|--|------------|-----------|---|----------|---------------------------|
| 概 要 | 篠栗町の名所を目的地に、グループごとに自由に計画し、自分たちの力で散策、観光する活動。 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | ○ | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 南蔵院、鳴淵ダム 他 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 3～7時間程度 | | | 人数 | 200名程度まで可能 1グループ5～8名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | | |
| | □バインダー □ささぐりマップ □ささぐりさぐり解答用紙 □フォトファイル □解答（指導者用） | | | □筆記用具 □水筒 □タオル □帽子 □リュックサック □腕時計（班1つ） □トイレットペーパー □雨具（かっぱ） □救急セット □緊急車両 □カメラ※ | | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1）主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2）事前踏査（下見）を行い、活動範囲を決定する。 （3）活動グループの組分けを行う。 ※事前学習として、グループごとに散策計画を立てさせておくことをおススメします。（目的地、ルート、電車の時刻等） | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1）ルールの説明、ささぐりマップ、フォトファイルの見方、記入方法、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） （2）目的地やルート、電車の時刻等を下調べし、散策計画を立てる。 （3）「ささぐりさぐり」の実施 ①スタート時刻を記入。 ②下調べした情報や自分たちの散策計画を元に、チェックポイントを全て散策する。 →交通ルールを守って、安全に行動すること。 ③訪れた証として、写真を撮ったり引率者からチェックをもらったりする。 ④社教センターへ戻ったら、ゴール時刻を記入しておく。 3 事後（片付け） （1）バインダー・用具の回収、返却 （2）得点の集計、順位の決定 （3）終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 篠栗町内、公道を歩きます。児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ 自然や町の景観を守るため、ごみは必ず団体で持ち帰ってください。 | | | | | |

F-8 ささぐりさぐり資料



←ささぐりマップ
(南蔵院方面)



←ささぐりマップ
(篠栗駅方面)



おさぐりさぐり

スタート時刻: _____

ゴール時刻: _____

| 写真 | 場所名 | 答え |
|----|-----|-----|
| A | | あ い |
| B | | う |
| C | | え |
| D | | お |
| E | | か |
| F | | く |
| G | | |
| H | | け |
| I | | こ |
| J | | さ |
| K | | し |
| L | | す |
| M | | せ |


↑ささぐりさぐり解答用紙

↑ささぐりさぐり解答用紙

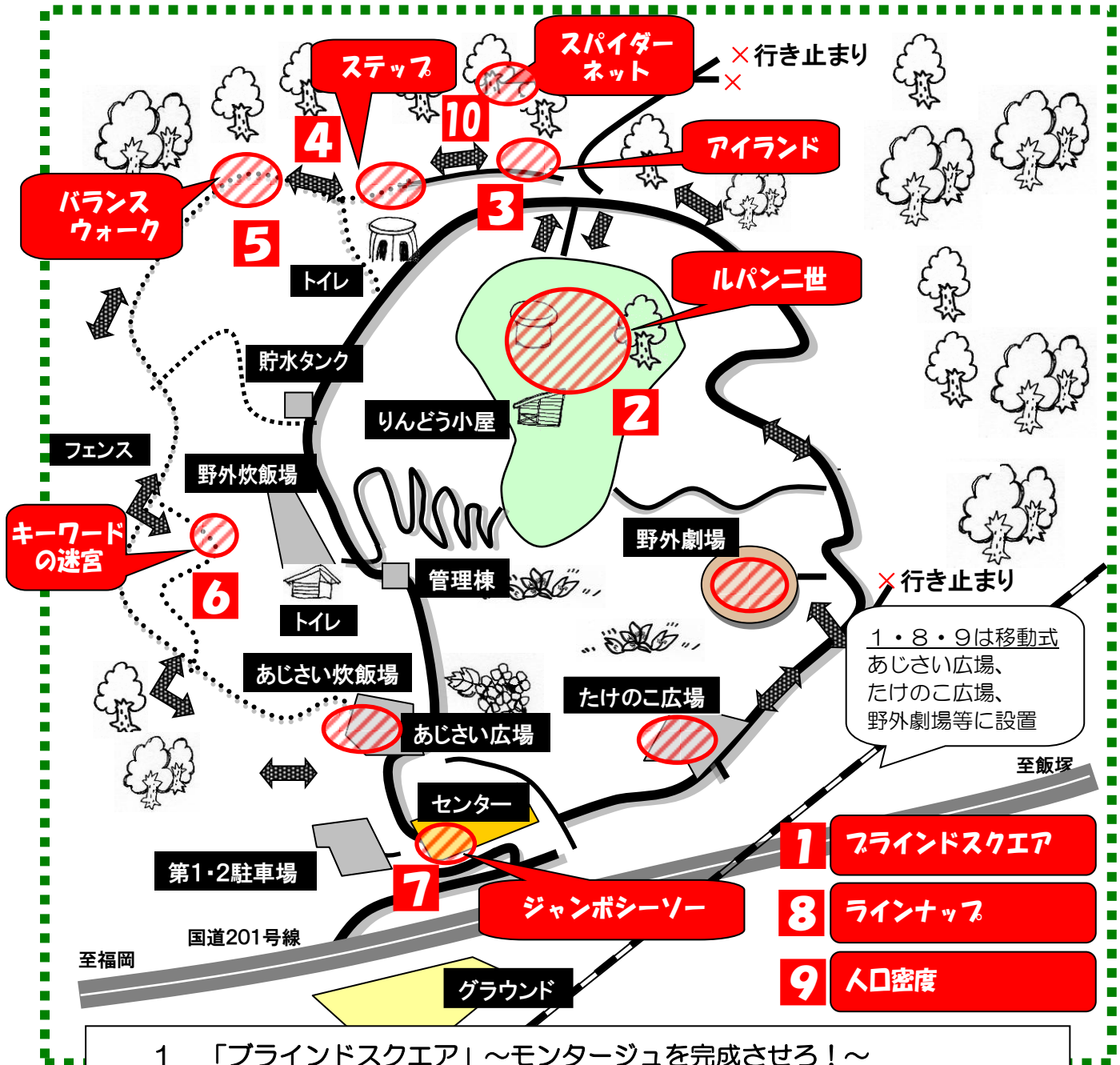
↑フォトファイル
ヒントとして景色を写真で示したり、その場所についての問題を記したりしているカードです。

※指導者用として、問題の答え等準備できます。

F-9 きずなの森プログラム

| 概 要 | | 複数の課題解決型アクティビティにグループの仲間と協力しながら挑戦する活動 | | | |
|--------|--|--------------------------------------|-----------|---|---|
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  きずなの森 H P 詳細へ |
| | ○ | | ◎ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ○ | |
| 条 件 | 場所 | きずなの森（裏山）、センター周辺 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1.5～4 時間程度 ※計画内容により変動 | | 人数 | 100 名程度まで可能 ※活動数と同数の指導者は必要 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 晴天時 推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> きずなの森道具（活動によって） <input type="checkbox"/> 〈データ資料〉振り返りシート | | | <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 帽子 軍手 <input type="checkbox"/> 救急セット | |
| 展 開 | ※詳細は別冊「きずなの森実施マニュアル」を参照ください。 | | | | |
| | <div><div><div>1 事前（当日までの準備）</div><div>(1) 主旨やルールを把握する。 (2) 事前踏査（下見）を行う。 (3) コースや実施方法を決定する。 (4) 活動グループの組み分けを行う。</div></div><div><div>職員との打合せ、相談は随時受け付けています。本活動については、活動の特性から数回の打合せを要します。ご理解のほどよろしくお願いします。</div></div></div> <div><div>2 活動（当日の流れ）</div><div>(1) センター職員と指導者で活動場所の設営を行う。 (2) 活動全体の概要、主旨の説明、スタート場所の確認 (3) 各グループ、各スタート場所への移動 (4) 「きずなの森プログラム」の実施 〈各アクティビティの流れ（めやす時間）〉※20分間設定のとき ①アクティビティのルールの確認（1分） ②試技（必要に応じて）（4分） ③目標設定の時間、作戦の確認（5分） ④挑戦する時間（7分） ⑤振り返る時間（3分） (5) 全ての活動を終えたら、集合場所へ移動する。</div></div> <div><div>3 事後（片付け）</div><div>(1) 人員の確認、健康チェック (2) 道具の撤収、返却、終了の報告 →撤収については、支援します。お声かけください。 ※この後の活動で、本活動を体験して感じたことや友達のよかったところなどを振り返る時間を実施するとより効果が高まります。</div></div> | | | | |
| 実施の留意点 | <div><div>○ 活動場所の準備、片付けや道具の貸出は、当センター職員が支援しますが、基本的には、団体の指導者主導の活動です。上記にもありますように、必ず十分な下見と打合せを行い、実施をお願いします。</div><div>○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</div></div> | | | | |

きずなの森



- 1 「フライドスクエア」～モンタージュを完成させろ！～
- 2 「ルパン二世」～時限爆弾を撤去せよ！～
- 3 「アイランド」～3つの島を征服せよ！～
- 4 「ステップ」～ボルタリングを克服せよ！～
- 5 「バランスウォーク」～バランス保って渡りきれ！～
- 6 「キーワードの迷宮」～迷路から脱出せよ！～
- 7 「ジャンボシーソー」～心を合わせて入れ替われ！～
- 8 「ラインナップ」～知恵をしぼって並び替われ！～
- 9 「人口密度」～仲間を信頼して島へとびのれ！
- 10 「スパイダーネット」～力を合わせてくぐり抜けろ！～

「鍛ほめ福岡メソッド」推進プログラム

「きずなの森」 実施マニュアル

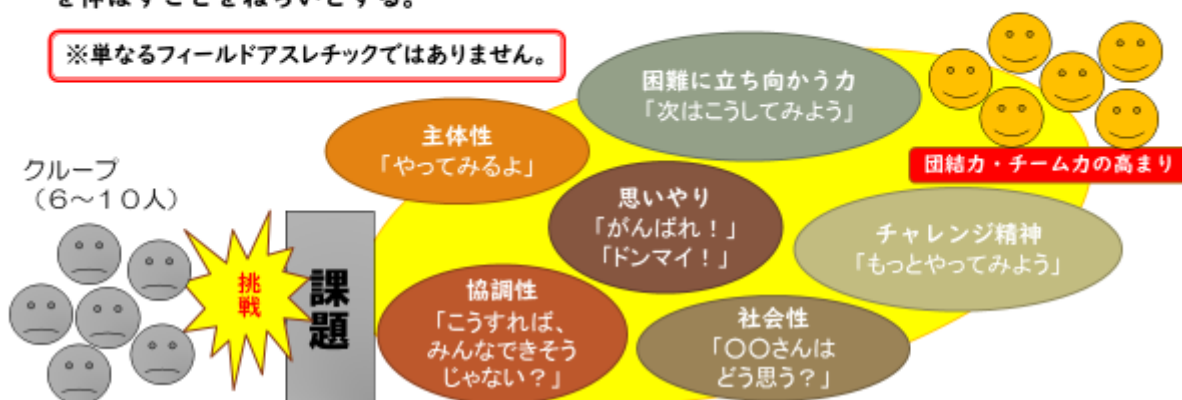
福岡県立社会教育総合センター
学習サポート室

I 実施要項

(1) 活動のねらい

センター内に設置された複数の課題解決型（イニシアチブ）アクティビティに、グループで挑戦することを通して、主体性や協調性、社会性、思いやりの心等を育み、チーム内のつながり（団結力、協働）をより強いものにすること、また、チャレンジ精神や困難に立ち向かう心を伸ばすことをねらいとする。

※単なるフィールドアスレチックではありません。



I 実施要項

(2) 活動場所 及び 集合場所

| | |
|----------------|--|
| 活動場所 | きずなの森（センター裏山）、玄関前広場、たけのこ広場、あじさい広場 〈荒雨天時〉体育館、プレイホール、講堂、研修室 等 |
| 集合場所 （説明場所） | たけのこ広場、あじさい広場、体育館 等 |

(3) 活動人数、グループ編成、及び 必要人員

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 活動人数 | 5人～100人（1団体あたり） |
| グループ編成 | 1グループ 6～8人が望ましい。※最小5人、最大10人 |
| 必要人員 （先生・指導者） | 各アクティビティに1名ずつ、必要になります。（評価者として） |

(4) 活動時間

1時間30分～4時間 ※各アクティビティ20分間（移動時間含む）

※ 団体の活動時間に応じて、対応可能です。

※ 実施アクティビティの数によっても変わります。

1 実施要項

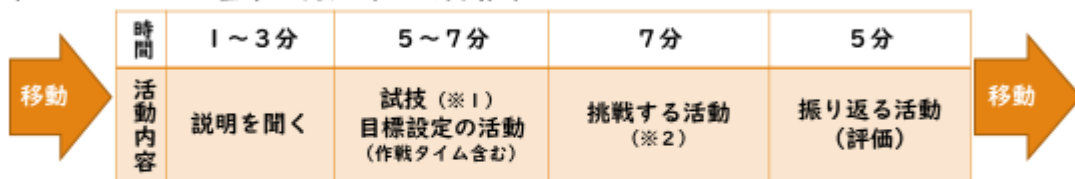
(5) 実施に関する注意事項

- ① 実施される学校の先生、団体の指導者、保護者の皆様が本プログラムの主旨やねらい、ルールをしっかりとご理解いただいた上で実施していただくことが必要であること。
※詳細な下見や打ち合わせが必要
- ② 本プログラムは、単に「課題が解決できたか」や「解決時間が早い、遅い」等によって競うものではないこと。**グループで協力し、話し合いながら課題解決に取り組んでいるかどうか**を評価の中心とすること。
〈評価の視点〉・グループ全員の意見が大切にされているか
・グループ全員で課題解決に取り組んでいるか
・困っている仲間への配慮がされているか
・最後まであきらめずにチャレンジできたか
- ③ 活動終了後に必ず「振り返る活動」を設定し、「良かった点」「気づいた点」を話し合わせる。チャレンジの結果にかかわらず、前向きな振り返りになるように、声かけや支援を行うこと。
例：〈チャレンジ成功時〉「成功の理由は何だと思いますか」
〈チャレンジ失敗時〉「どんなことに気をつければ、成功につながると思いますか」

1 実施要項

(5) 実施に関する注意事項

- ④ 設定されている時間を必ず守ること。
〈アクティビティ 基本の流れ（20分間）〉



- ※1 試技は必要に応じて実施する。その場合は、説明の時間等で調整すること
 ※2 仮に時間内に課題が解決できなくても終了し、「振り返る活動」を行い、次の活動に遅れないように移動を促すこと

- ⑤ 活動にあたっては、安全に実施できるように声かけ、支援を行うこと。また、事前に注意する箇所等の確認を行うこと。

2 アクティビティの内容

(1) 「きずなの森」アクティビティ一覧

| 活動名 | 活動内容概要 | 準備する物 | 活動名 | 活動内容概要 | 準備する物 |
|---------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------|---|------------------------|
| 1 ブラインドスクエア ※屋内実施可能 | 1.5m程度のロープを全員が目隠しをした状態で持ち、設定された図形（正方形や正三角形等）に挑戦する。5分間の作戦タイムの中で、役割分担や実施方法等の共通理解を図っておくことが重要である。 | ・ストップウォッチ ・ロープ（1.5m） ・目隠し | 6 キーワードの迷宮 （きずなの森常設） | チームで協力して、迷路の途中に隠されているキーワードを集めながら、設定時間内に迷路を抜け、集めたキーワードをつなげ言葉を探し出すゲーム。チーム全員で協力することが課題解決への早道となる。 | ・ストップウォッチ ・キーワード |
| 2 ルパン二世 | 全員に配布されるヒントカードをもとに、制限時間が過ぎた時点で地図と小屋のカギを探し出し、制限時間内に制限時間を撤去する。リーダーがヒントカードをとりまとめ、的確に指示を出せるかどうか成功のカギとなる。 | ・ストップウォッチ ・ヒントカード ・カギ及び制限時間 | 7 ジャンボシーソー ※屋内実施要相談 | チームで二手に分かれてシーソーに乗り、所定の位置につく。そこから、シーソーの端が地面に着かないようにうまくバランスをとりながら位置を入れ替わるゲーム。声掛けと呼吸を合わせた動きが成功の鍵となる。 | ・ストップウォッチ ・ジャンボシーソー |
| 3 アイランド | 長短2枚の板を使って、島から島へ渡っていくゲーム。2枚の板は地面（海）に着けることはできない。途中で失敗すればやり直し。未知の結果と橋を渡る順番が成功を左右する。 | ・ストップウォッチ ・橋となる板（2枚） | 8 ラインナップ ※屋内実施可能 | チーム全員が平均台に1列で並んで乗る。そこから、地面に落ちないように「誕生日順」などの課題に沿って指定された方向から並び替える。入れ替わりの方法を身体的特徴に合わせて見つけ出すことが重要である。 | ・ストップウォッチ ・平均台 |
| 4 ステップ （きずなの森常設） | 個人に設定された色のステップ（丸太）の上を制限時間内に渡りきるゲーム。ステップは難易度（低・中・高）に応じて色分けされている。他者への補助と作戦タイム、色の振り分けが課題解決のカギとなる。 | ・ストップウォッチ | 9 人口密度 ※屋内実施可能 | スタート台から小島（約50cm四方の台）へ1人ずつ乗り移っていく。全員が乗り移って10秒間地面に落ちなければ成功。乗り移る順番や立ち位置などが成功への鍵となる。 | ・ストップウォッチ ・人口密度専用器具 |
| 5 バランスウォーク ※屋内実施要相談 | バランスを取りながら、木と木の間に張られている幅5cmのスラックライン上を渡っていくゲーム。極度の緊張感と戦いとなる。補助者の協力とチームの声掛けが欠かせない。 | ・ストップウォッチ ・スラックライン | 10 スパイダーネット （きずなの森常設） | 木と木の間にクモの巣のように張り巡らされたロープの間を1人ずつ通り抜けていく。通り抜ける箇所は難易度に応じて得点がある。1人では通り抜けることはできないので、チームの協力が目標得点へ通ずる鍵である。 | ・ストップウォッチ ・ブルーシート |

2 アクティビティの内容

(2) 「なかまづくりプログラム（室内実施可）」アクティビティ一覧

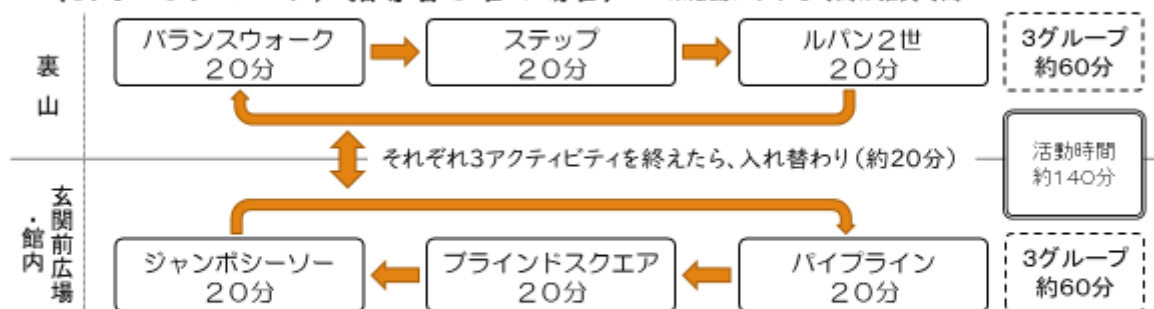
| 活動名 | 活動内容概要 | 準備する物 | 活動名 | 活動内容概要 | 準備する物 |
|----------|--|--------------------------------------|---------------------------|--|----------------------------|
| 1 キーパンチ | コートに広げられた1～30の数字プレートを、グループの仲間と協力して、順序良くタッチしていく。目標となる数字（ゴール）はグループで設定可能。誰がどの順番でタッチしていくかなど作戦を立てることが、目標達成のカギとなる。 | ・キーパンチ （1～30の数字プレート） ・ストップウォッチ | 6 ヘリウムフープ | グループの仲間と輪をつくり、全員の手の人差し指にセットしたフープを気持ちよく下へに降ろす。誰の指からも離れることなく、フープを下に降ろすことが目標となる。グループ間の呼吸が成功のカギとなる。 | ・フープ |
| 2 パイプライン | 制限時間内にグループ全員でパイプをつなぎ、玉をゴールまで運ぶ。何個運ぶか（ゴール）は、グループで設定可能。どのようにパイプをつなぐかグループ間の声かけが成功のカギとなる。 | ・ストップウォッチ ・玉 ・パイプ ・バケツ | 7 グループワーク① 「ぼくの座席はどこ？」 | 班員の持っている情報を口頭で出し合い、リーダーを中心に空白の座席表を完成させるグループワーク。制限時間内に正確に座席表を完成させることが目標となる。情報をいかに伝えつなげていくかが成功のカギとなる。 | ・指示書 ・解答用紙 ・マジックペン |
| 3 フープリレー | グループの仲間と手をつないで輪をつくり、スタートの人の腕にかかっているフープを手を離さずに一周させる。一周の速さを目標とするチャレンジ。どのようにフープを送るか、グループ間の声かけが成功のカギとなる。 | ・フープ ・ストップウォッチ | 8 グループワーク② 「コピーは見た！」 | 班員が見たある図形の情報を口頭で伝え合い、リーダーを中心に作図していくグループワーク。制限時間内にできるだけ正確に図形を完成させることが目標となる。情報をいかに伝え、つなげていくかが成功のカギとなる。 | ・見本の図形 ・解答用紙 ・マジックペン |
| 4 インパルス | グループの仲間と輪をつくり、スタートの人から次の人へと拍手をつなぎ、一周する。最後の人が拍手したときの速さを記録し、速さを目標とするチャレンジ。グループ間の呼吸と声かけが成功のカギとなる。 | ・ストップウォッチ | | | |
| 5 ビート | グループの仲間と輪をつくり、みんなで気持ちを合わせて、決められたリズム打ちをする。リズム打ちを始めてから終わるまでミスなく続けることが目標となる。グループ間の呼吸と声かけが成功のカギとなる。 | （特になし） | | | |

3 実施例

① 「きずなの森」基本の流れ

〈8人×6グループ／指導者6名の場合〉

※活動にかかる時間は推奨時間



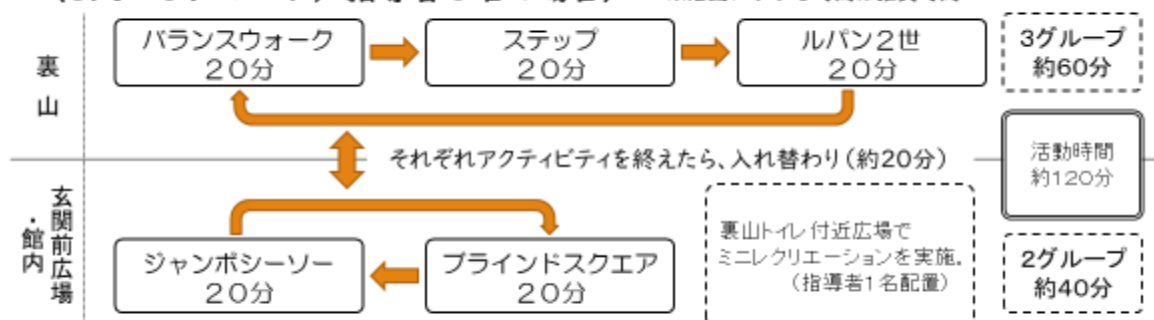
- 本館～裏山間の移動を考慮し、2か所に分かれて活動する。
- 指導者は各活動に1名ずつファシリテーターとして配置する。
- まず、裏山で3つの活動、本館周辺で3つの活動を行い、それぞれ終えたら入れ替わり、残りの3つの活動を実施する。

3 実施例

② 「きずなの森」

〈8人×5グループ／指導者6名の場合〉

※活動にかかる時間は推奨時間

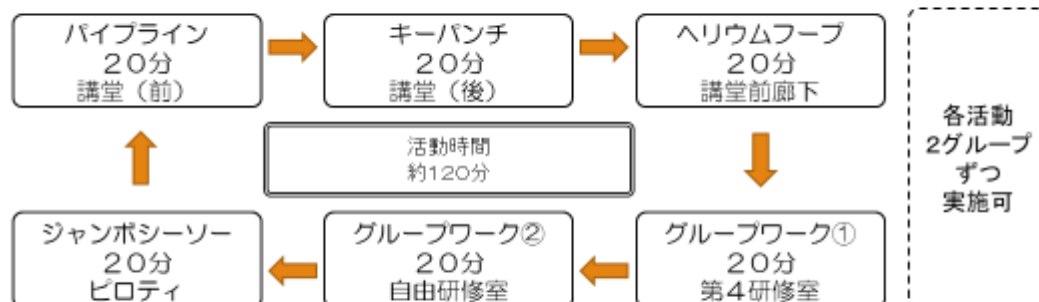


- 本館～裏山間の移動を考慮し、2か所に分かれて活動する。
- 指導者は各活動に1名ずつファシリテーターとして配置する。ミニレクリエーション係1名を配置。
- まず、裏山で3つの活動、本館周辺で2つの活動を行い、それぞれ終えたら入れ替わり、残りの活動を実施する。前半に本館周辺で活動した班は早めの移動となるが、裏山トイレ付近広場でミニレクリエーションを行い、時間を調整するとよい。

3 実施例

③ 「なかまづくりプログラム（館内実施）」 〈8人×12グループ／指導者6名の場合〉

※活動にかかる時間は推奨時間



- 場所については、要相談。講堂、体育館、プレイホール、研修室等から調整して実施する。
- 指導者は各活動に1名ずつファシリテーターとして配置する。
- 館内のため、移動時間を短縮して実施することが可能。ジャンボシーソーのみ、ピロティ（館外）での実施。

◎ おわりに

「きずなの森」は、「フィールドアスレチック」では**ありません**。

本紙の「（1）活動のねらい」にも示すよう、グループで挑戦することを通して、グループ、学級、チーム内のつながりや団結力を高めることをねらいとした「仲間づくり」のための活動場所です。


「きずなの森」での体験活動を通して、まずは、子どもたちが仲間と共に目標に向かってチャレンジすることの楽しさを感じてほしいと思っています。

そのことが、それぞれの学級やチームでの日頃の活動とつながり、絆を深めることにつながると考えています。


「きずなの森」プログラムの主旨や方法をしっかりとご理解いただいた上での実施をお願いいたします。



R-1 キャンプファイヤー

| | | | | | |
|--------|---|-----------------------------------|-----------|--|--|
| 概 要 | 炎を囲んで、歌や踊り、楽しいスタンプ（出し物）を行い、連帯感や友情を深めたり、研修のまとめや振り返る時間として自己を深く見つめたりするのに適した活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | | | ◎ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | たけのこ広場、あじさい広場、 野外劇場 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | 人数 | 最大 200 名程度まで可能 ※場所により変動 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 晴天時（雨天・強風時不可） |
| | 料金 | キャンプファイヤーセット（¥1,200）※薪、灯油、衣装等貸出含む | | | |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □CD ラジカセ等放送器具 □マイク □衣装 □スコップ □消火用バケツ | | | □トーチ（必要数） □料金（¥1,200） □火器（マッチ、ライター等） □灯油 □軍手 □「交歓のつどい」に必要なもの | |
| 展 開 | ※詳細は「キャンプファイヤー・キャンドルのつどい実施マニュアル（P34）」を参照ください。 | | | | |
| | <p>1 事前（当日までの準備）</p> <p>（1） 主旨や実施方法を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）</p> <p>（2） トーチを必要分用意する。（作り方例は右ページ）</p> <p>（3） 進行の流れを決め、歌や踊り、スタンプ等の準備、練習をする。</p> <p>2 活動（当日の流れ）</p> <p>（1） キャンプファイヤーの準備を行う。</p> <p>→事前の準備時間として、30分程度確保をお願いします。</p> <p>センター職員が支援します。お声かけください。</p> <p>（2） 「キャンプファイヤー」の実施（基本の3部構成で実施の時）</p> <p>①第1部 迎火のつどい</p> <p>→全員で輪になり中央の火床を囲み、聖なる火を持つ火の神を迎え、火床に点火するつどい</p> <p>②第2部 交歓のつどい</p> <p>→みんなで歌や踊り、ゲームを行い、楽しい雰囲気の中で友情を深めるつどい</p> <p>③第3部 送火のつどい</p> <p>→自分たちを照らしてくれた炎に感謝し、仲間との一日を振り返るつどい</p> <p>※迎火のつどい、送火のつどいについては、「進行例」の資料があります。</p> <p>お問い合わせください。</p> <p>3 事後（片付け）</p> <p>（1） 火床の消火（基本、燃やし尽くすまで見守り、最後は水をかけて完全に消火）</p> <p>（2） 終了の報告、センター職員による点検</p> <p>（3） 用具の回収、返却</p> <p>（4） 火床の片付け（台車等熱くなっていますので、翌朝つどい前まででも可）</p> | | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ キャンプファイヤー開始時は、必ずセンター職員にご連絡ください。</p> <p>○ 火の取り扱い（トーチ等）には十分気をつけてください。終了後は、センター職員が消火確認を行いますので、必ずご連絡ください。</p> <p>○ 荒雨天時、晴天でも「強風」の場合は実施できません。ご了承ください。</p> | | | | |

R-2 キャンドルのつどい

| | | | | | |
|--------|--|-----------------------------------|-----------|--|---|
| 概 要 | キャンドルの火を囲み、歌や踊りなど楽しいスタンプ（出し物）を行い、連帯感や友情を深めたり、研修のまとめや振り返る時間として自己を深く見つめたりするのに適した活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  キャンドル H P 詳細へ |
| | | | ○ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 体育館、プレイホール、講堂 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | 人数 | 最大200名程度まで可能 ※場所により変動 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| | 料金 | キャンドルのつどいセット（¥950）※ろうソク、燭台、衣装貸出含む | | | |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> CD ラジカセ等放送器具 <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> 燭台 <input type="checkbox"/> ろうソク受け（最大10個貸出可） | | | <input type="checkbox"/> 料金（¥950） <input type="checkbox"/> 火器（マッチ、ライター等） <input type="checkbox"/> 「交歓のつどい」で必要なもの | |
| 展 開 | ※詳細は「キャンプファイヤー・キャンドルのつどい実施マニュアル」を参照ください。 | | | | |
| | <p>1 事前（当日までの準備）</p> <p>（1） 主旨や実施方法を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）</p> <p>（2） 進行の流れを決め、歌や踊り、スタンプ等の準備、練習をする。</p> <p>2 活動（当日の流れ）</p> <p>（1） 「キャンドルのつどい」の準備を行う。</p> <p>→事前の準備時間として、30分程度確保をお願いします。</p> <p>センター職員が支援します。お声かけください。</p> <p>（燭台の準備、火の着け方、照明や放送機器について）</p> <p>（2） 「キャンドルのつどい」の実施（基本の3部構成で実施の時）</p> <p>①第1部 迎火のつどい</p> <p>⇒全員で輪になり中央の燭台を囲み、聖なる火を持つ火の神を迎え、燭台のろうソクに点火するつどい</p> <p>②第2部 交歓のつどい</p> <p>⇒みんなで歌や踊り、ゲームを行い、楽しい雰囲気の中で友情を深めるつどい</p> <p>③第3部 送火のつどい</p> <p>⇒自分たちを照らしてくれた火に感謝し、仲間との一日を振り返るつどい</p> <p>※ 迎火のつどい、送火のつどいについては、「進行例」の資料があります。お問い合わせください。</p> <p>3 事後（片付け）</p> <p>（1） 用具の回収、返却</p> <p>（2） 燭台を元の場所に返し、燭台や床に垂れたろうの清掃</p> <p>（3） 終了の報告</p> | | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 「キャンドルのつどい」については、<u>原則、「キャンドルのつどいセット」を購入し、実施をお願いします。（キャンドルの持込不可）</u></p> <p>○ 火の取り扱いには十分気をつけてください。</p> | | | | |

キャンプファイヤー キャンドルのつどい 実施マニュアル

福岡県立社会教育総合センター
学習サポート室

キャンプファイヤー・キャンドルのつどいについて

< 活動時間(目安) >

およそ60～120分間

※夜の活動 19:00～21:00の間で実施可能

< 実施会場の収容人数 >

| キャンプファイヤー | | キャンドルのつどい | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| 場 所 | 人 数(約) | 場 所 | 人 数(約) |
| たけのこ広場 | ～200人 | 体育館 | ～200人 |
| あじさい広場 | ～100人 | 講堂 | ～100人 |
| 野外劇場 | ～50人 | プレイホール | ～50人 |

< 活動上の留意点 >

- 「火」の取り扱いには十分お気をつけください。
- 「消火」「道具等の片付け」まで、団体で責任をもって実施をお願いします。
- 開始時、終了時には必ずセンター職員までご連絡ください。
- 「キャンプファイヤー」は「雨天」、晴天時でも「強風」の場合は実施できません。荒雨天時の活動の準備もお願いします。

< 実施団体が準備するもの >

| キャンプファイヤー | | キャンドルのつどい | |
|--|-----------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 料金 キャンプファイヤーセット ￥1,200 | | <input type="checkbox"/> 料金 キャンドルのつどいセット ￥950 | |
| <input type="checkbox"/> 「交歓のつどい」で必要なもの | | <input type="checkbox"/> 「交歓のつどい」で必要なもの | |
| <input type="checkbox"/> 火器（マッチ、ライター等） | | <input type="checkbox"/> 火器（マッチ、ライター等） | |
| <input type="checkbox"/> トーチ（必要数） | | | |
| <input type="checkbox"/> 灯油 | <input type="checkbox"/> 軍手 | | |

※ 令和4年度より、セット購入団体のみの実施となりました。ご了承ください。

< センターが提供するもの >

| キャンプファイヤー | | キャンドルのつどい | |
|----------------------------------|---------------------------------|---|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 薪×3束 | <input type="checkbox"/> 枕木 | <input type="checkbox"/> 燭台 | <input type="checkbox"/> ロウソク（必要数） |
| <input type="checkbox"/> 消火用バケツ | <input type="checkbox"/> スコップ | <input type="checkbox"/> ロウソク受け（最大10個まで貸出可） | |
| <input type="checkbox"/> 火の神衣装一式 | <input type="checkbox"/> CDラジカセ | <input type="checkbox"/> 火の神衣装一式 | <input type="checkbox"/> CDラジカセ |
| <input type="checkbox"/> マイク 等 | | <input type="checkbox"/> マイク 等 | |

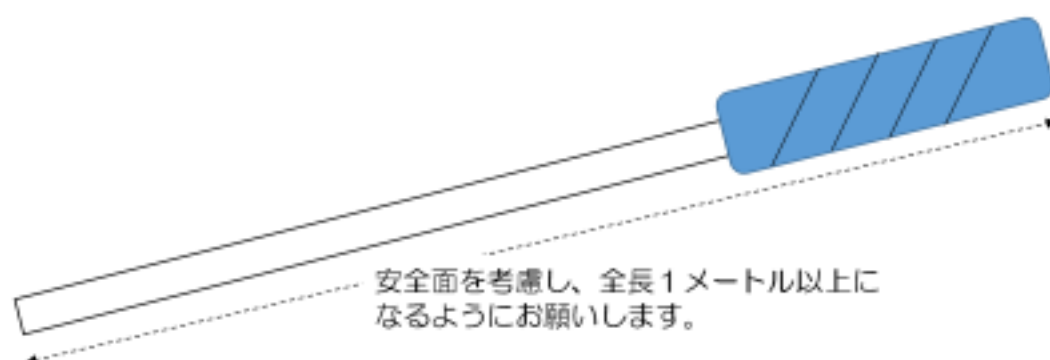
※ セット内容を含みます。

その他、要望に応じて、用具等、貸し出しできます。事前にご相談ください。

< キャンプファイヤー・「トーチ」の作り方 >

① 材料の準備をする。

- ☐生木などの燃えにくい棒（1m以上） ☐タオルなどの布（綿製が望ましい）
☐針金



② 上の図のように、棒に布を巻き付けます。（20cm程）

使用する布が化学繊維の場合、燃える時に炎が垂れてしまい、大変危険です。
「綿」を多く使った布を使いましょう。

③ 布を棒に固定するために、しっかりと針金を巻き付け、完成です。

※ 例えば、センター案で実施の場合、火の神用1本、火の守用8本の計9本のトーチが必要となります。団体の実態等に合わせた実施案に合わせて、ご用意ください。

活動の流れ(キャンプファイヤー展開例)

①役割分担例 (あくまで一例です。団体の実態に応じて役割分担をお願いします。)

| 役 割 名 | 人数(人) | 内 容 |
|-----------|-------|---------------------------|
| 火の司 | 1 | プログラム全体の司会進行をします。 |
| 営火長 | 1 | つどいの責任者で、始まりと終わりに言葉を述べます。 |
| 火の神 | 1 | 「迎火のつどい」で、火を掲げて入場します。 |
| 火の守 | 4～8 | 分火したトーチを掲げ、誓いの言葉を述べます。 |
| 献詩係 | 1～2 | 「迎火のつどい」で、詩の朗読をします。 |
| 音響係 | 2 | プログラムに合わせて音響・照明を担当します。 |
| 会場係 | 10 | まき組みや後片付けをします。 |
| ファイヤーキーパー | 2 | 火勢の保持につとめます。(大人推奨) |

②当日の事前準備

※当センター職員が支援します。上記「会場係」の児童生徒と指導者1～2名程度での実施が望ましいですが、指導者2～3名での実施でも構いません。

- ① 枕木、薪の組み立て
- ② トーチ、灯油、防火バケツ、使用機器等の準備
- ③ 衣装等の受け取り
- ④ リハーサルの実施 等

③ つどいの展開

◎「開始」の報告

⇒点火前に必ず事務室へ連絡をしてください。
内線(117) / 外線(092-947-3511)

【第1部】迎火のつどい(約30分間)

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|-------------------------|-----|--|
| ○全体入場 | 全 員 | 火床を中心に円になる |
| | 火の神 | 衣装に着用し、用意しておく |
| 1 火の神 入場 | 火の司 | 「ただいまより、〇〇(団体名)キャンプファイヤーを行います。火の神が若杉山から聖なる火を持って入場しますので、静かに見つめてください。」 |
| | 音響係 | 『遠き山に火は落ちて』歌なし曲を流す |
| | 火の神 | 静かに入場し、火床と参加者の間を一周し、営火長の横につく |
| | 音響係 | 火の神入場完了したら、音楽を止める |
| 2 営火長 はじめ の 言葉 | 火の司 | 「それでは、営火長よりはじめの言葉をお願いします。」 |
| | 営火長 | 「今、ここに皆さんの友情と団結のために聖なる火を迎えました。火は遠い昔から私たちに生きる喜びや勇気を与えてくれました。火は私たちの生命でもあります。火を大切にすることは、自分を守ることになるのです。しかし、この偉大な火も使う人の心により、人類を開拓と破壊へと導くことにもなります。火を大切に使う心を忘れてはいけません。」 (右ページへつづく) |

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|---------------------------|------|---|
| 2 営火長 はじめの 言葉 | 営火長 | (左ページより)「今、ここに燃える火は、ここに集う私たちに、大きな勇気と自信を与えてくれるものと信じます。また、このつどいが一人一人の心の奥深く、いつまでも美しく、楽しい思い出となるように祈りつつ、このつどいを聞きます。」 |
| 3 火の守 へ分火 誓いの 言葉 | 火の司 | 「それでは、火の神から火の守へ分火してもらいます。火の守は、火の神の前に整列しましょう。」 |
| | 火の守 | 火の神の前に移動し、整列する。 |
| | 火の司 | 「分火」 |
| | 火の神 | 一人一人順序良く、火の守へ分火していく。 ※分火→火の守の誓いの言葉→次の人へ分火…を繰り返す。 |
| | 火の守A | わたしはこの火に「友情」を誓います。 |
| | 火の守B | わたしはこの火に「たえず努力すること」を誓います。 |
| | 火の守C | わたしはこの火に「尊敬する心を持つこと」を誓います。 |
| | 火の守D | わたしはこの火に「みんなと協力すること」を誓います。 |
| | 火の守E | わたしはこの火に「希望をもつこと」を誓います。 |
| | 火の守F | わたしはこの火に「助け合いの心」を誓います。 |
| | 火の守G | わたしはこの火に「思いやりの心」を誓います。 |
| | 火の守H | わたしはこの火に「家族を大切にすること」を誓います。 |
| | 火の司 | 「火の神より火の守へ分火されました。火の神と火の守は火床のまわりに移動しましょう。」(次ページへ) |

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|-------------|------------|---|
| 4 点火 | 火の神 火の守 | 等間隔に広がりながら、火床を囲むように、また、火床に向かって配置につく |
| | 火の司 | 「引き続き、火の神、火の守によって中央の火床に点火をお願いします。」(少し間をとって)「点火」 |
| | 火の神 火の守 | 「点火」の合図で、トーチを火床に立てかけるように乗せる ※置いたら、すぐに下がること |
| 5 献詩と 合唱 | 火の司 | 「火床に炎がともりました。皆さんが誓った思いとともに輝いています。炎を見つめながら、詩の朗読を静かに聴いてください。」 |
| | 献詩係 | 献詩係は前に出る。 「営火は燃える 赤々と燃え まっすぐに燃え 勇気を出せと励ます」 「営火は燃える ゆらゆらと燃え 招くように燃え 豊かであれと励ます」 「営火は燃える 踊るように燃え 舞うように燃え 輪を広げようと励ます」 「私を支える営火の火はいつまでも闇を照らし 今が本番だと教える 人生には リハーサルがないと教える 私は何時間でも この火を見つめる」 |
| | 火の司 | 「さあ、みなさん。この火がずっと燃え続けることを祈って、『燃えろよ 燃えろ』を歌いましょう。」 |
| | 音響係 | 『燃えろよ 燃えろ』の曲をかける |
| | 全員 | 『燃えろよ 燃えろ』の歌をうたう |
| 6 第一部 完 | 火の司 | 「これで、第一部 迎火のつどいを終わります。さあ、第二部はみんなで楽しい時間を過ごしましょう。」 |

【第2部】交歓のつどい(約50～60分間)

※子どもたちが考えたゲームやスタンプなどを行い、楽しい時間を過ごし、友情を深めましょう。

【第3部】送火のつどい（約15分間）

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|--------------|-----|---|
| ○全員集合 整列 | 全 員 | 火床を中心に円になる |
| | 営火長 | 火床の前に出てくる |
| 1 はじめ の言葉 | 火の司 | 「とても楽しいひとときでしたね。しかし、もう夜も深くなってきました。そろそろ私たちを照らしてくれたこの炎ともお別れをしましょう。第3部 送火のつどいを始めます。」 |
| 2 営火長の 言葉 | 火の司 | 「それでは、営火長より終わりの言葉をお願いします。」 |
| | 営火長 | 「大勢の友達が一つの光を中心にして、歌ったり踊ったりして、打ち解け合い、楽しく過ごしたこの時間の思い出は、皆さんにとって忘れられないものとなることでしょう。この火は消えても、いつまでも皆さんの心の中に誓いの炎を燃やし続けて、一緒に過ごした仲間を思い出してください。」 |
| 3 終わりの 言葉 | 火の司 | 「以上をもちまして、〇〇（団体名）のキャンプファイヤーを終わります。」 |

- 上記の一連の展開は、あくまで一例です。これを元に指導者が展開や進行、言葉などを立案、計画して、実施してください。
子どもたちと共に「全体の流れ」を計画して、子どもたち主導で各つどいを進行することも考えられます。
- 「第3部」は、「振り返る時間」として最適です。営火の周りに、グループごとに集まって、一日を振り返り、明日につなぐ時間を設定することをおすすめします。

④ 後片付け

【火床の片付け】

- 1 火床の確認
→ 薪はほとんど燃やし尽くすようにお願いします。
- 2 火床の消火
→ 水をかけて完全に火を消してください。
灰は所定の場所へ捨ててください。
- 3 「終了」の報告／用具等の返却
→ 終了時には必ず事務室へご連絡ください。
- 4 火床台車の片付け
→ 終了後すぐは、台車は熱くなっています。翌朝、つどいの前までに片付けをお願いします。

※ その後、センター職員が点検します。
片付けが不十分な場合は、ご連絡しますので、ご協力よろしくお願いします。

活動の流れ(キャンドルのつどい展開例)

※概ね「キャンプファイヤー」と流れは同じ。文言の違いがあります。

①役割分担例 (あくまで一例です。団体の実態に応じて役割分担をお願いします。)

| 役 割 名 | 人 数 (人) | 内 容 |
|---------|---------|----------------------------|
| 火の司 | 1 | プログラム全体の司会進行をします。 |
| 火の長 | 1 | つどいの責任者で始まりと終わりに言葉を述べます。 |
| 火の女神 | 1 | メインキャンドルの入退場や火の守への分火を行います。 |
| 火の守 | 4～8 | 分火された火を燭台に移し、誓いの言葉を述べます。 |
| 献詩係 | 3 | 「迎火のつどい」で、詩の朗読をします。 |
| 音響係・照明係 | 2 | プログラムに合わせて音響・照明を担当します。 |
| 会場係 | 10 | まき組みや後片付けをします。 |

②当日の事前準備

※当センター職員が支援します。上記「会場係」の児童生徒と指導者1～2名程度での実施が望ましいですが、指導者2～3名での実施でも構いません。

- ① 燭台、ロウソクの設置
- ② ロウソク受け、使用機器等の準備
- ③ 衣装等の受け取り
- ④ リハーサルの実施 等

③ つどいの展開

◎「開始」の報告

⇒点火前に必ず事務室へ連絡をしてください。
内線(117) / 外線(092-947-3511)

【第1部】迎火のつどい(約30分間)

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|-------------|-----|--|
| ○全体入場 | 全 員 | 燭台を中心に円になる |
| | 女神 | 衣装に着用し、用意しておく |
| 1 火の女神入場 | 火の司 | 「ただいまより、〇〇(団体名)キャンドルのつどいを行います。火の女神が聖なる火を持って入場しますので、静かに見つめてください。」 |
| | 音響係 | 『遠き山に火は落ちて』歌なし曲を流す |
| | 女神 | 静かに入場し、燭台と参加者の間を一周し、火の長の横につく |
| | 音響係 | 女神入場完了したら、音楽を止める |
| 2 火の長はじめの言葉 | 火の司 | 「それでは、火の長よりはじめの言葉をお願いします。」 |
| | 火の長 | 「今、ここに皆さんの友情と団結のために聖なる火を迎えました。火は遠い昔から私たちに生きる喜びや勇気を与えてくれました。火は私たちの生命でもあります。火を大切にすることは、自分を守ることになるのです。しかし、この偉大な火も使う人の心により、人類を開拓と破壊へと導くことにもなります。火を大切に使う心を忘れてはいけません。」 (右ページへつづく) |

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|---------------------------|------|---|
| 2 火の長 はじめの 言葉 | 火の長 | (左ページより)「今、ここに燃える火は、ここに集う私たちに、大きな勇気と自信を与えてくれるものと信じます。また、このつどいが一人一人の心の奥深く、いつまでも美しく、楽しい思い出となるように祈りつつ、このつどいを聞きます。」 |
| 3 火の守 へ分火 誓いの 言葉 | 火の司 | 「それでは、火の神から火の守へ分火してもらいます。火の守は、火の神の前に整列しましょう。」 |
| | 火の守 | 火の神の前に移動し、整列する。 |
| | 火の司 | 「分火」 |
| | 女神 | 一人一人順序良く、火の守へ分火していく。 ※分火→火の守の誓いの言葉→次の人へ分火…を繰り返す。 |
| | 火の守A | わたしはこの火に「友情」を誓います。 |
| | 火の守B | わたしはこの火に「たえず努力すること」を誓います。 |
| | 火の守C | わたしはこの火に「尊敬する心を持つこと」を誓います。 |
| | 火の守D | わたしはこの火に「みんなと協力すること」を誓います。 |
| | 火の守E | わたしはこの火に「希望をもつこと」を誓います。 |
| | 火の守F | わたしはこの火に「助け合いの心」を誓います。 |
| | 火の守G | わたしはこの火に「思いやりの心」を誓います。 |
| | 火の守H | わたしはこの火に「家族を大切にすること」を誓います。 |
| | 火の司 | 「火の神より火の守へ分火されました。火の神と火の守は燭台のまわりに移動しましょう。」(次ページへ) |

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|------------|-----------|---|
| 4 点火 | 女神 火の守 | 等間隔に広がりながら、火床を囲むように、また、燭台に向かって配置につく |
| | 火の司 | 「引き続き、火の神、火の守によって中央の燭台に点火をお願いします。」(少し間をとって)「点火」 |
| | 女神 火の守 | 「点火」の合図で、燭台のロウソクに火をつける |
| 5 献詩 | 火の司 | 「火床に炎がともりました。皆さんが誓った思いとともに輝いています。炎を見つめながら、詩の朗読を静かに聴いてください。」 |
| | 献詩係 | 献詩係は前に出る。 「キャンドルは燃える 赤々と燃え まっすぐに燃え 勇気を出せと励ます」 「キャンドルは燃える ゆらゆらと燃え 招くように燃え 豊かであれと励ます」 「キャンドルは燃える 踊るように燃え 舞うように燃え 輪を広げようと励ます」 「私を支えるキャンドルの火はいつまでも闇を照らし 今が本番だと教える 人生には リハーサルがないと教える 私は何時間でも この火を見つめる」 |
| | 女神 火の守 | 持っているロウソク受けのロウソクの火を消し、片付ける |
| 6 第一部 完 | 火の司 | 「これで、第一部 迎火のつどいを終わります。さあ、第二部はみんなで楽しい時間を過ごしましょう。」 |

【第2部】交歓のつどい(約50～60分間)

※子どもたちが考えたゲームやスタンプなどを行い、楽しい時間を過ごし、友情を深めましょう。

【第3部】送火のつどい（約15分間）

| 次 第 | 役 割 | 言 葉・動 き 等 |
|--------------|-----|---|
| ○全員集合 整列 | 全 員 | 燭台を中心に円になる |
| | 火の長 | 燭台の前に出てくる |
| | 女神 | 女神用のロウソクをもち、火の長の横につく |
| 1 はじめ の言葉 | 火の司 | 「とても楽しいひとときでしたね。しかし、もう夜も深くなってきました。そろそろ私たちを照らしてくれたこの炎ともお別れをしましょう。第3部 送火のつどいを始めます。」 |
| 2 火の長 の言葉 | 火の司 | 「それでは、営火長より終わりの言葉をお願いします。」 |
| | 火の長 | 「このつどいで歌ったり踊ったりして、打ち解け合い、楽しく過ごしたこの時間の思い出は、皆さんにとって忘れられないものとなることでしょう。キャンドルの火の一つ一つは小さいけれど、5本、10本、数十本と集まると同じ目的に向かって、がっちりと手を取る灼熱の炎ともなります。人もまた一人一人は小さいですが、多くの人と手を取り合うことで、大きな力を発揮することができます。この光は皆さんの心に灯され、友情の火として明るく輝き、育てられることでしょう。いつまでも皆さんの心の中にこの火を燃やし続けて、一緒に過ごした仲間を思い出してください。皆さんの幸福と健康を願いつつ、このつどいを終わります。」 |
| | 火の司 | 「女神が退場します。ロウソクの火を見つめながら、静かに見送みましょう。」 |
| | 女神 | 燭台の火を自分のロウソクに移し、燭台と参加者の間を一周し、退場する |
| 3 終わりの 言葉 | 火の司 | 「以上をもちまして、〇〇（団体名）のキャンドルのつどいを終わります。」 |

- 一連の展開は、あくまで一例です。これを元に指導者が展開や進行、言葉などを立案、計画して、実施してください。
子どもたちと共に「全体の流れ」を計画して、子どもたち主導で各つどいを進行することも考えられます。
- 「第3部」は、「振り返る時間」として最適です。営火の周りに、グループごとに集まって、一日を振り返り、明日につなぐ時間を設定することをおすすめします。


④ 後片付け

【燭台の片付け】

- 1 ロウソクの消火
- 2 用具の回収
→ ロウソクやロウソク受けなど、しっかり数を確認してください。
- 3 落ちた ロウの清掃、燭台の片付け
→ 燭台や床に垂れたロウの清掃をお願いします。
燭台を元の場所に返却してください。
- 4 「終了」の報告／用具等の返却
→ 終了時には必ず事務室へご連絡ください。

※ その後、センター職員が点検します。
片付けが不十分な場合は、ご連絡しますので、ご協力よろしくお願いします。

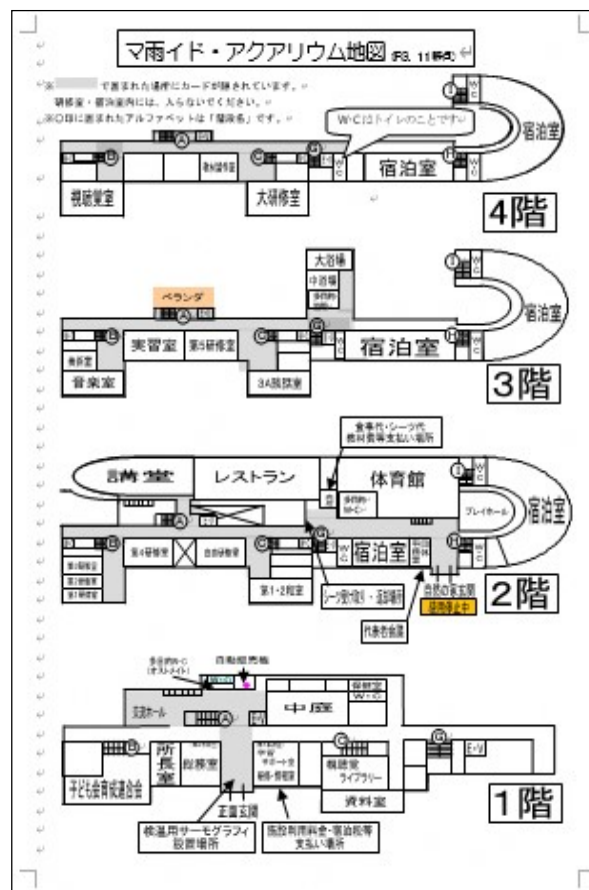
R-3 マ雨イドアクアリウム

| | | | | | | |
|--------|--|------------|-----------|--|--|--|
| 概 要 | 仲間と協力し、館内の様々なエリアに隠された海の生き物カードを見つける館内オリエンテーリング活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 館内 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | | 人数 | 100 名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> フォトマップ <input type="checkbox"/> 解答用紙 <input type="checkbox"/> マ雨イドアクアリウム地図 <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> 解答（指導者用） | | | | <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 腕時計（各班 1 つ） <input type="checkbox"/> 救急セット | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。 | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明、フォトマップの見方、チェックカード記入方法、 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 （2） 「マ雨イドアクアリウム」の実施 ①目標時間を設定する。 ②スタート時刻を記入して出発する。 ③フォトマップを頼りに生き物カードを探す。 ④見つけたら、チェックカードに該当する生き物の名前を記入する。 ⑤目標時間に合わせて、ゴールする。ゴール時刻を記入する。 3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 事前に下見を行い、危険個所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ 館内を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。 | | | | | |

R-3 マ雨イドアクアリウム資料



↑ フォトマップ



↑ マ雨イドアクアリウム地図

あめ
マ雨イド アクアリウム
かいとうようし
解答用紙

写真の場所に行って、かくれている「海の生き物」をさがそう！

| はん | | ゼッケン NO. | |
|--------|-------|----------|-------|
| スタート時間 | ゴール時間 | スタート時間 | ゴール時間 |
| 時 | 分 | 時 | 分 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |
| ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ |

おやくそく

- ・かならずみんなで行きましょう。
- ・ほかの人にけいやくをかけないように、ろうがはしずかに歩きましょう。
- ・生き物はろうがかかれています。へやの中にはいたり、外にでてはいけません。

↑ マ雨イドアクアリウム解答用紙




← フォトマップの1番が示す場所を探すと…



タツノオトシゴ

R-4 センターワクドキたんけん隊


| | | | | |
|--------|---|------------|------------------------------|---|
| 概 要 | 仲間と協力してクイズを解きながら、センター内の施設を散策する館内オリエンテーション活動 | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  HP 詳細へ |
| | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | |
| 条 件 | 場所 | 館内 | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | 人数 | 100 名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □問題用紙 □解答用紙 □解答（指導者用） | | □筆記用具 □腕時計（各班1つ） □救急セット | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2） 「センターワクドキたんけん隊」の実施 ①目標時間を設定する。 ②スタート時刻を記入して出発する。 ③クイズをもとにセンター内を散策し、どんな研修室や宿泊室があるかを知る。 ④分かったら、解答用紙に答えを記入する。 ⑤目標時間に合わせて、ゴールする。ゴール時刻を記入する。</p> <p>3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告</p> | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 事前に下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。</p> <p>○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</p> <p>○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。</p> <p>○ 館内を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。また、他の研修室等に入らないようにお願いします。</p> | | | |

F-4 センターワウドキたんけん隊資料

たい

センターワウドキたんけん隊

館内をみて回りながら、クイズを解いていこう！
 ぼくも見つけてね！
 みんなが使う場所はどこかな？？



1階

A1 正面玄関前しょうめんげんかんにまへにある旗はたをあげるボールの数はいくつですか？

A2 センター1階せんたーいかいにいるふくろうの名前は何ですか？

A3 シャキョウレンジャーのポスターで、左から二番目のレンジャーの色はどれですか？
 ①フラック ②レッド ③イエロー ④ブルー ⑤グリーン

A4 中庭なかつまで飼っている生き物は何か？

2階

B1 シーツを返却する場所はこの前まへでしよう？

B2 センターの中には、くつを脱ぐか、上履じゆふきでないと入れない場所があります。
 それは体育館とどこですか？
 ①講堂 ②宿舎 ③フレイホール

B3 レストランの名前は何か？

B4 体育館の横にある、「今日のキーワード」は何ですか？

B5 体育館前のベンチある、かざりの中でない形はどれですか？
 ①円 ②三角 ③ひし形 ④星 ⑤音符

3階

C1 次の中でセンターにないのはどれですか？
 ①小浴場 ②中浴場 ③大浴場

C2 3階にある浴場の前の廊下には、同じ言葉が書かれたはり紙があります。
 そこには何と書いてありますか？

C3 3A談話室のとなりの部屋は何という部屋ですか？

←問題用紙

解 答 用 紙

| 準備 | | クイズ | |
|-----------|------------|-------------|----|
| スタート線 | | ゴール線 | |
| A1 | A2 | A3 | A4 |
| B1 | B2 | B3 | B4 |
| B5 | C1 | C2 | C3 |
| D1 | D2 | | |
| E1 | E2 体育館のマーク | E2 センターのマーク | E3 |
| E4 | E5 | E6 | E7 |
| F1 | F2 | F3 | |
| 点数 | | | |

←解答用紙



※指導者用として、解答等用意できます。

R-5 館内ビンゴ

| | | | | | |
|------------|--|------------|-----------|------------------------------|--------------|
| 概 要 | 仲間と協力して、センター内にあるものを見つけながら施設を散策する館内オリエンテーリング活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 館内 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | 人数 | 100 名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □ビンゴカード □館内ビンゴMAP | | | □筆記用具 □腕時計（各班1つ） □救急セット | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2） 「館内ビンゴ」の実施 ①目標時間を設定する。 ②スタート時刻を記入して出発する。 ③ビンゴカードの課題をもとに館内を回り、課題を解決したら、チェックしていく。 ④多くの課題を解決して、ビンゴを達成していく。 ⑤目標時間に合わせて、ゴールする。ゴール時刻を記入する。</p> <p>3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告</p> | | | | |
| 実施の 留意点 | <p>○ 事前に下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。</p> <p>○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</p> <p>○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。</p> <p>○ 館内を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。また、他の研修室等に入らないようにお願いします。</p> | | | | |

[illegible]

| <div> <div> かんない 館内ビンゴ </div> <div> ルール:おみつけたら○をつけよう タテ・ヨコ・ナナメがどうたらビンゴの完成だ！ </div> </div> | | | | |
|--|----------------|---------------------------|--------------------------|---------------------|
| カメをみつけよう | 温度計をみつけよう | フラフープをくぐろう | クリスマスリースを みつけよう | 茶色のソファを みつけよう |
| 今日のキーワードを みつけよう | 手指消毒をしよう | クモの巣をみつけよう | 2階のホワイトボード に絵を描こう | 赤い服を着た人 にいさつをしよう |
| ごみを集めよう | のマークを みつけよう | FREE | 交流ホールのカブラを 3段以上積み上げよう | AEDをみつけよう |
| ジオラマ(施設の模型) をみつけよう | 窓をあけて 換気しよう | 4階から米の山を みつけよう | ピアノで「きらきら星」 を弾こう | 忘れ物コーナーに いってみよう |
| 花瓶をみつけよう | 国旗をみつけよう | シャキョウレンジャーの ポスターをみつけよう | 花壇の花を見つこう | おおきな音風機を みつけよう |

The illustration shows three circular callouts. The top-left callout contains an image of an AED (Automated External Defibrillator) with the text 'HEARTSTART' and 'AED' (Automated External Defibrillator) and the Chinese text '自動体外式除颤器'. The bottom-right callout contains an image of a vase with a single flower. The bottom-left callout contains an image of three children (two boys and one girl) standing together, smiling, and holding papers.

- 47 -

R-6 館内フォトビンゴ

| | | | | | |
|--------|--|---------|-----------|----------------------------|--------------|
| 概 要 | センター内を散策し、フォトマップの写真を見つけ、ビンゴを完成させる館内オリエンテーリング活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 館内 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | 人数 | 100名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □館内フォトマップ □フォトビンゴMAP □解答用紙 □解答（指導者用） | | | □筆記用具 □腕時計（各班1つ） □救急セット | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ） （1） ルールの説明 諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2） 「フォトビンゴ」の実施 ①目標（ビンゴの数）や目標時間を設定する。 ②スタート時刻を記入して出発する。 ③フォトマップと館内地図をもとにセンター内を散策し、どんな研修室や宿泊室があるかを知る。 ④写真の景色や物を見つけたら、館内地図内の場所番号を解答用紙に記入する。 ⑤目標時間に合わせて、ゴールする。ゴール時刻を記入する。</p> <p>3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告</p> | | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 事前に下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。</p> <p>○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</p> <p>○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。</p> <p>○ 館内を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。また、他の研修室等に入らないようにお願いします。</p> | | | | |

R-6 館内フォトビンゴ資料



↑館内フォトマップ

社教センター 館内 フォトビンゴ

年 月 日
 解答欄

| | | |
|--------------|---|---|
| グループ名 (組) | | |
| スタート時刻 | 時 | 分 |
| ゴール時刻 | 時 | 分 |

- 1 グループで目標をもちましょう。
例：「〇つビンゴを達成する」「みんなで協力する」
「競い合いながら活動する」「1時間で全部見つける」など
- 2 どの順番で回るか、作戦を立てよう。
- 3 「スタート時刻」を記入して、出発しよう。
- 4 写真のものや景色を見つけたら、右の解答欄に「フォトビンゴMAP」上にある場所番号（①～⑮）を書こう。
- 5 ゴールしたら「ゴール時刻」を記入して、指導者（先生）にゴールの報告をしよう。

| | | |
|-----|------|------|
| ビンゴ | ポイント | 合計 |
| | | /200 |

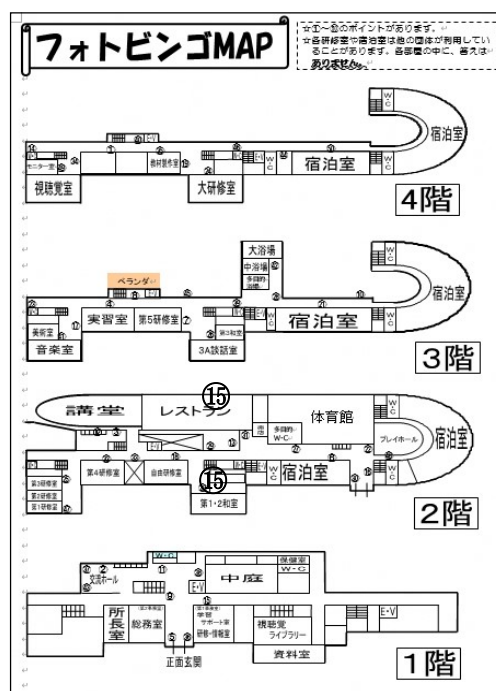
フォトビンゴ・得点について

☆たて・よこビンゴ……………10点×10ビンゴ

☆ななめビンゴ……………25点× 2ビンゴ

☆1ポイント正解することにより… 2点×25ポイント

↑解答用紙



↑フォトビンゴ MAP

R-7 館内スコアビンゴ

| | | | | | |
|--------|--|---------|-----------|----------------------------|--------------|
| 概 要 | ひらがな50音を使ってビンゴカードを作り、仲間と協力して、センター内に隠されたポストを探し、ビンゴを作る活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 館内 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1～2時間程度 | | 人数 | 100名程度まで可能 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □バインダー □館内スコアビンゴ地図 □スコアビンゴカード □ポスト（カード型）□解答（指導者用） | | | □筆記用具 □腕時計（各班1つ） □救急セット | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備） （1） 主旨やルールを把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ） （1） ポスト（カード型）を設置する。 →館内に自由に設置してよいですが、研修室や宿泊室の中の設置はご遠慮ください。また、設置した場所については、しっかり記録（メモ）し、確実に回収できるようにしてください。 （2） ルールの説明、地図、ビンゴカードの見方、記入方法、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等） → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 （3） 「館内スコアビンゴ」の実施 ①ひらがな50音から好きな文字を24こ選び、ビンゴカードをつくる。 ②館内を巡りながら、ポストを探す。 ③ビンゴカードに書いた文字と同じ文字のポストを見つけたら、ビンゴカードに「ポスト番号」を書く。 ④たて・よこ・ななめにビンゴを完成させる。</p> <p>3 事後（片付け） （1） バインダー・用具の回収、返却 （2） 得点の集計、順位の決定 （3） 終了の報告</p> | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 事前に下見を行い、危険個所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。 ○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。 ○ 資料の準備がありますので、グループ数を事前にお知らせください。 ○ 館内を自由に散策しますので、他の研修団体への配慮をお願いします。また、他の研修室等に入らないようにお願いします。 | | | | |

R-7 館内スコアビンゴ資料

スコアビンゴ

令和 年 月 日

| | | |
|--------------|---|---|
| グループ名 (班) | | |
| スタート時刻 | | |
| ゴール時刻 | 時 | 分 |

1. スタート前に、好きなひらがなを右の口の半に書いてください。

例

| |
|-----|
| No. |
| ろ |

2. コースを周って、見つけたポストのひらがなが、解答欄の口に書いてあるとき、そのポストの番号を

例

| |
|---------|
| No. No. |
| ろ |

ビンゴ得点

☆たて・よこ……………10点

☆ななめビンゴ……………25点

☆1ポイント正解するごとに…2点

ビンゴ

ポイント

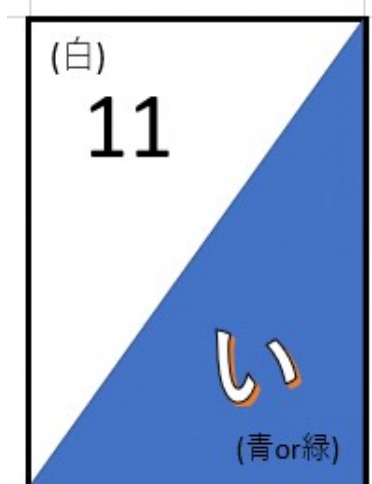
合計

/ 200

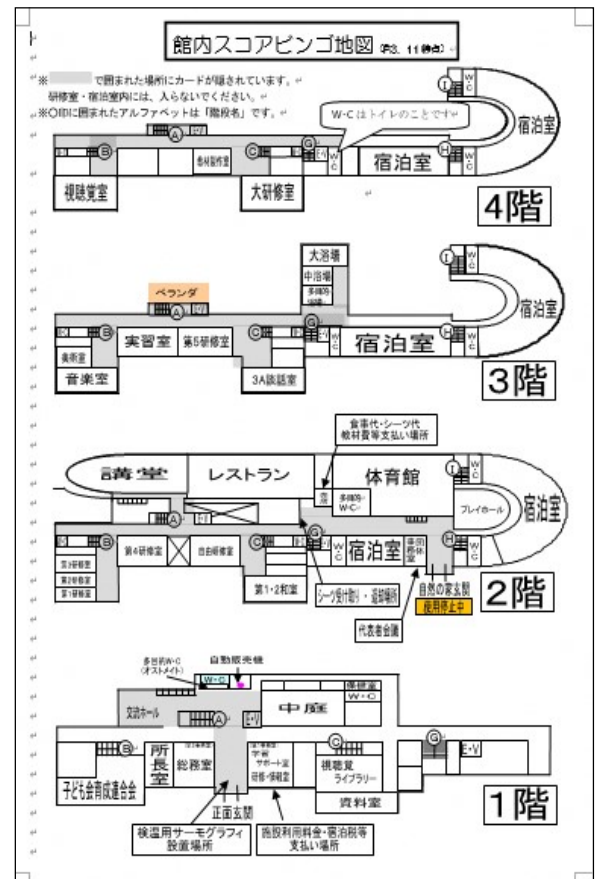
解答欄

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| No. | No. | No. | No. | No. |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| No. | No. | | No. | No. |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| No. | No. | No. | No. | No. |
| No. | No. | No. | No. | No. |

↑スコアビンゴカード



↑ポスト(カード型)



↑館内スコアビンゴ地図

R-8 ボッチャ

| | | | | | |
|--------|---|-----------------------------|-----------|-------------------|---------------------------|
| 概 要 | | 仲間と協力して、パラスポーツ（ボッチャ）に挑戦する活動 | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 体育館、講堂、プレイホール 等 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | 人数 | 72名（1チーム6名推奨） ※道具6セット分 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □ボッチャセット（全6セット） | | | □水筒 □タオル □対戦表等 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1）ルール等を確認し、実施方法を決定する。 →対戦の仕方（対戦表）、審判等の役割分担、ゲームの進め方 （2）活動グループの組分けを行う。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1）実施会場の設定、準備 （2）ルールの説明、諸注意 →必要があれば、センター職員が行います。 （3）「ボッチャ」の実施（社教センタールールについては、別紙参照） ①先攻後攻を決めます。 ②先攻チームはまず、「ジャックボール」を投げます。 ③続けて、「ジャックボール」に目がけて、自ボールを投げます。 ④以下、交互に投げ合ったら、1エンド終了です。 ⑤自ボールをジャックボールに近づけたほうが勝ちです。 ⑥1ゲーム、3～6エンド程度繰り返し、合計点で勝敗を決める。 ※あくまで、1例です。 ※適宜、作戦タイム（振り返り）をすると、より「仲間づくり」の効果が高まります。 | | | | |
| 実施の留意点 | 3 事後（片付け） （1）用具の片付け （2）結果発表、振り返り （3）道具の返却、終了の報告 | | | | |
| | ○ 紹介しているルールやゲームの進め方については、簡易的なものに変えています。実際のルールについては、それぞれ事前に調べて実施してください。 ○ 利用団体で、研修者の実態に合わせた独自のルールで工夫して進めても構いません。 ○ 道具については、大切に扱ってください。 | | | | |

R-8 ボッチャ資料



↑ 審判セット



↑ ジャックボール (白)

～ボッチャセット～

白ボール (ジャックボール) 1 球

赤ボール 6 球

青ボール 6 球

※このセットが計 6 セットあります。

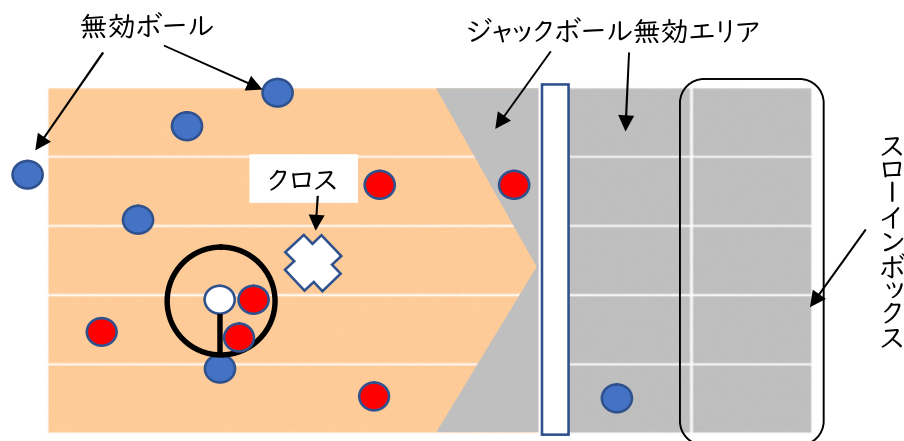
(ボッチャの進め方)

- ① 先攻、後攻を決めます。
- ② 先攻チームがジャックボールを投げて、スタートします。
- ③ 続けて、先攻チームがジャックボールめがけて、ボールを投げます。
- ④ 次に後攻チームがボールを投げます。
- ⑤ 交互に投げ合って、全球投げ合ったら 1 エンド終了です。
- ⑥ ジャックボールに近いほうが勝ちです。負けたチームのボールで一番近いボールの内側に勝ったチームがいくつあるかで得点が決まります。

(その他のルール)

- ・ 相手のボールやジャックボールにボールを当てても良い。
- ・ コートからボールが出たら、得点に数えることができない。
- ・ ジャックボールがコートから出た場合は、クロス位置に戻してゲームを再開する。


(得点のつけ方)



- ① 双方のチームの最もジャックボールに近いボールを比較し、どちらが近いかを判定する。(図の場合は赤。)
- ② ジャックボールに遠かった方のチーム (図では青) のジャックボールに一番近いボールとジャックボールを結んだ線を半径とし、ジャックボールを中心とした円を描く。
- ③ その円の中に何個ボールがあるかを数え、その数が得点となる。(図の場合は、赤の 2 点となる。)
- ④ ①がまったく等距離のときのみ得点が 1 対 1 となる。

※ 上記のルールは、社教センターが設定した簡易的なルールです。公式のルールとは、大きく違いがあります。

R-9 カプラ積み木

| | | | | | | |
|---|--|-----------------|-----------|--|--------------------------|---------------------------------|
| 概 要 | 想像力を働かせながら、積み木を組み合わせ、仲間と協力して作品をつくる活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | | | ○ | |
|  カプラ H P 詳細へ | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | 体育館、講堂、プレイホール 他 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | | 人数 | 100 名程度まで可能 1 グループ 5 ～ 8 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> カプラセット（1250 枚） ※全 3 セット | | | | <input type="checkbox"/> | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1）活動の進め方を確認する。 （2）活動グループの組分けを行う。 ※事前にどんなものをつくるか、話し合わせておいてもよい。 | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1）作り方の説明、諸注意 （2）どんなものをつくるか、イメージを膨らます。 （3）「カプラ積み木」の実施 ○仲間と協力して、一つの作品を作り上げる。 （4）他のグループの作品を鑑賞する。 ○褒め合える手立てがあるとよい。 （5）各グループで振り返る。 3 事後（片付け） （1）用具の回収、活動場所の清掃 （2）終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 「カプラ積み木」はともすれば、ただの積み木遊びになりかねません。実施の際は、ねらいを明確にし、活動内容をきちんと計画して活動に臨んでください。 ○ 使用後は積み木の数进行数え、紛失していないか確認してください。 | | | | | |

R-9 カプラ積み木資料



～カプラ積み木作品例～



R-10 シャキョウレンジャーからの挑戦状（遊びリンピック）

| | | | | | |
|--------|---|-------------|-----------|---|--------------------------|
| 概 要 | 競技性のある体験活動を通して、課題に挑戦したり順位を競ったりする楽しさを体験し、達成感を感じることでできる活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ○ | |
| 条 件 | 場所 | 研修室 他 | | 対象 | どなたでも |
| | 時間 | 60～120分間 程度 | | 人数 | ～200名でも ※進め方等ご確認ください。 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候型 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □各アクティビティ道具（別紙参照） □スタンプカード（案） | | | □スタンプ、またはシール （アクティビティ数や人数による） □新聞紙 等 □筆記用具 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 進行の仕方や道具の設置方法、ルールを把握する。 （2） 道具等の準備 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ）〈別案参照〉 （1） 各アクティビティのルール、流れの説明 （2） アクティビティの実施（例） ①スタートは人数を割り振っておき、決められたアクティビティから始める。 ②合格してもしなくても、並び直して、再挑戦する。 ③合格したら、スタンプ（シール）をもらう。 ④空いているアクティビティを見つけ、自分のペースですべてのアクティビティに挑戦する。 ⑤すべてのスタンプを集めるとゴールとなる。 ※2周目以降は、「自分で決めた目標」で挑戦させるとよい。 ※各アクティビティで記録を掲示すると、目標設定しやすい。 3 事後（片付け） （1） 用具の回収、返却 （2） 終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ◎活動の趣旨、進め方、道具の準備等、事前の打ち合わせが必要 ◎各アクティビティに1名ずつ指導者（大人）が審判として入ることが望ましい。子どもの実態に応じて、「セルフジャッジ」でさせてもよい。 ○研修者の実態に合わせて、進行方法や基本ルールなどは適宜変更して実施してもよいが、活動の趣旨を十分に考慮すること | | | | |

R-10 シャキョウレンジャーからの挑戦状資料



〈ミニアクティビティ一覧〉


| | | | | |
|---------|---|--|-------|-------------------|
| 競技名 | 登って3周チャレンジ（動） | | 対 象 | 親 子 |
| 概要 | 制限時間内（1分間）に、保護者（大人）の体にしがみつきながら、3周回る | | | |
| センター準備物 | ストップウォッチ | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | 慎重に運べ！ラケットリレー！（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 制限時間内（30秒間）に、ラケットにボールを乗せて、5m先にあるゴールにボールを何個いれるかを競う | | | |
| センター準備物 | タイマー メジャー 箱 卓球ラケット 卓球ボール | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | とばせ！遠くへ（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | スタートラインからスリッパを飛ばし、その飛距離を競う | | | |
| センター準備物 | メジャー、ビニールテープ等（ライン用） | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | 足踏み日本一！（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | その場で「もも上げ」を行い、制限時間内の回数で競う | | | |
| センター準備物 | ストップウォッチ（タイマー） | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | 跳んで！30秒チャレンジ（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 制限時間内に、跳んだ縄跳びの回数で競う | | | |
| センター準備物 | とび縄、ストップウォッチ（タイマー） | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | ほうきパターゴルフ（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | スタートラインから新聞紙球をほうきで打って、5回中何回ゴールに入れるかを競う | | | |
| センター準備物 | ほうき、ちりとり | | 団体持参物 | 新聞紙 |
| 競技名 | 玉入れ競争（動） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | スタートラインから5このボールを投げ、入れた数を競う | | | |
| センター準備物 | 箱・ボール5こ | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | 紙ちぎりのばし！（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 制限時間内に、新聞を切らないようにちぎり、その長さを競う | | | |
| センター準備物 | メジャー、 | | 団体持参物 | 新聞紙・ニールテープ等（ライン用） |
| 競技名 | 写真（イラスト）でジグソーパズル（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | パズルを完成させる速さで競う | | | |
| センター準備物 | パズル、ストップウォッチ | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | 「の」の字を見つけ出せ！（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 制限時間内に新聞紙から「の」の字を見つけ、その数で競う | | | |
| センター準備物 | マジックペン、ストップウォッチ（タイマー） | | 団体持参物 | 新聞紙 |
| 競技名 | ペットボトルキャップつかみ取り（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 右手、左手の両方の手でペットボトルキャップをつかんだ数を競う | | | |
| センター準備物 | ペットボトルキャップ（多数）、箱、紙皿 | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | エスパーサイコロ（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 制限時間内に、宣言した目とサイコロの出目が合った回数で競う | | | |
| センター準備物 | サイコロ、ストップウォッチ（タイマー） | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | チームで絵しりとりリレー（静） | | 対 象 | グループ・家族 |
| 概要 | 制限時間内に、しりとりを「絵」を描いて行い、その数で競う。 | | | |
| センター準備物 | マジック、ストップウォッチ | | 団体持参物 | 模造紙 |
| 競技名 | めざせ！ビンゴ！（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 1～30までの数字から9つの数字を選び、ビンゴが成立した数を競う。 | | | |
| センター準備物 | 筆記用具、ホワイトボード | | 団体持参物 | 紙（A4用紙等）、 |
| 競技名 | みんなで挑戦！ボトルフリップ（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | ペットボトルを宙返りさせて投げ、着地させた回数で競う | | | |
| センター準備物 | ペットボトル、水 | | 団体持参物 | なし |
| 競技名 | ピンポンカップ（静） | | 対 象 | 個人・グループ |
| 概要 | 数m先に置いた紙コップにピンポン玉をバウンドさせて入れた個数で競う | | | |
| センター準備物 | テーブル、紙コップ等、ピンポン玉 | | 団体持参物 | なし |

※「スタンプカード」様式も準備できます。ご相談ください。

R- I I 仲間づくりプログラム

| | | | | | |
|--------|--|--------------------------|-----------|--|-------------------------------|
| 概 要 | 複数の課題解決型アクティビティにグループの仲間と協力しながら挑戦する活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | ○ | | ◎ | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ○ | |
| 条 件 | 場所 | 体育館、講堂、プレイホール 他 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1.5～4 時間程度 ※計画内容により変動 | | 人数 | 100 名程度まで可能 ※活動数と同数の指導者は必要 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> 仲間づくりプログラム道具 (活動によって) <input type="checkbox"/> 〈データ資料〉振り返りシート | | | <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 救急セット | |
| 展 開 | ※詳細は「きずなの森実施マニュアル (P28)」を参照ください。 | | | | |
| | <div><div>1 事前 (当日までの準備)</div><div>(1) 主旨やルールを把握する。 (2) コースや実施方法を決定する。 (3) 活動グループの組分けを行う。</div><div>2 活動 (当日の流れ)</div><div>(1) センター職員と指導者で活動場所の設営を行う。 (2) 活動全体の概要、主旨の説明、スタート場所の確認 (3) 各グループ、各スタート場所への移動 (4) 「仲間づくりプログラム」の実施 〈各アクティビティの流れ (めやす時間)〉※20 分間設定のとき ①アクティビティのルールの確認 (1 分) ②試技 (必要に応じて) (4 分) ③目標設定の時間、作戦の確認 (5 分) ④挑戦する時間 (7 分) ⑤振り返る時間 (3 分) (5) 全ての活動を終えたら、集合場所へ移動する。</div><div>3 事後 (片付け)</div><div>(1) 人員の確認、健康チェック (2) 道具の撤収、返却、終了の報告 →撤収については、支援します。お声かけください。 ※この後の活動で、本活動を体験して感じたことや友達のよかったところなどを 振り返る時間を実施するとより効果が高まります。</div></div> <div>職員との打合せ、相談は随時受け付けています。本活動については、活動の特性から数回の打合せを要します。ご理解のほどよろしくお願いします。</div> | | | | |
| 実施の留意点 | <div>○ 活動場所の準備、片付けや道具の貸出は、当センター職員が支援しますが、基本的には、団体の指導者主導の活動です。上記にもありますように、必ず十分な下見と打合せを行い、実施をお願いします。</div> <div>○ 児童生徒の人員の確認、健康チェック、安全確認、指導者の役割分担を十分に行ってください。</div> | | | | |

N- I 野外炊飯活動

| | | | | | | |
|--|---|--------------------|--|--|--|---------------------------|
| 概 要 | 野外で、仲間と役割分担し協力しながら、美味しい食事をつくる活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | ○ | | ○ | | ◎ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | ○ | | ○ | |
|  野外炊飯 H P 詳細へ | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | あじさい野外炊飯場、野外炊飯場 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 4～5時間程度 | | | 人数 | 170名程度まで可能 ※1グループ最大10名 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 全天候実施可 |
| | メニュー 料金 | 別紙「利用の手引き」でご確認ください | | | | |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | | |
| | <input type="checkbox"/> 調理道具セット <input type="checkbox"/> なた（各班1本） <input type="checkbox"/> ほうき <input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> 火ばさみ（3本程度） | | | <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input checked="" type="checkbox"/> お皿・スプーン（コロナ対応） <input type="checkbox"/> マッチ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ふきん <input type="checkbox"/> スポンジ <input type="checkbox"/> 亀の子たわし <input type="checkbox"/> 洗剤 | | |
| 展 開 | ※詳細は「野外炊飯活動実施マニュアル（P60）」を参照ください。 | | | | | |
| | 1 事前（当日までの準備） | | | | | |
| | （1）実施方法、準備物を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2）野外炊飯場の下見を行う。 （3）活動グループの組分けをし、役割分担を行う。 | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） | | | | | |
| | （1）調理の仕方、貸出道具の確認、片付け方、薪割り、火熾しの説明 → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。 | | | | | |
| | （2）「野外炊飯（調理）」の実施（カレーライスの場合） | | | | | |
| | 食 材 係 | | 食 器 係 | | かまど係 | |
| | ①食材を受け取る ②「ご飯」の準備 ③食材を切る ④使用済み道具を洗う ⑤「カレー」調理補助 ⑥ヨーグルトサワーを受け取る | | ①道具を受け取る ②道具を洗う ③食材を切る ④使用済み道具を洗う ⑤食事の準備 | | ①薪割りの仕方を知る ②薪を割る ③火を熾す ④「ご飯」を炊く ⑤「カレー調理」 | |
| | （3）食事をする。 | | | | | |
| | （4）片付けをする。 | | | | | |
| | 3 事後（片付け） | | | | | |
| | （1）貸出し用具の点検を受ける。 （2）用具セットや食材かご等の返却。 | | | | | |
| 実施の 留意点 | ○ 火や刃物を扱います。安全管理や指導の徹底をお願いします。 ○ 「片付け」→「食器点検」の時間までが「野外炊飯活動」です。余裕のある時間設定をお願いします。 ○ 食材、道具の準備がありますので、「人数×グループ数」を事前にお知らせください。 | | | | | |

野外炊飯活動 マニュアル

福岡県立社会教育総合センター
学習サポート室

野外炊飯（カレーづくり）活動について

< 活動時間（目安） >

昼食 9:00～14:00

夕食 13:30～18:00

※「片付け」の時間までが「野外炊飯活動」です。

※夕食づくりは、遅くても15:00までに開始することが望ましいです。

< 野外炊飯場の収容人数 等 >

あじさい炊飯場 最大 130 名（13グループ）

野外炊飯場 最大 40 名（4グループ）

合計 170 名（17グループ）

【最適活動人数】 … 1グループ6～10人程度

（それ以上は、用具の関係上不可。）

< センターから貸し出せる備品 > ※レストランで食材購入時のみ

| | |
|-------------|---|
| 調理用具 セット | 包丁（2本）、まな板（2枚）、ボウル（1つ）、ざる（1つ）、 大鍋（1つ）、ライスクッカー（1つ）、しゃもじ（2本）、 お玉（1本）、どんぶり（1つ）、ピーラー（1つ）、 スプーン（1本） ※やかん（基本はなし。必要に応じて貸出。） |
| その他 | なた（各班1本）、ほうき、スコップ、火ばさみ（3本程度） |

< 団体が準備するもの >

| 準備物 | 備考 | 準備物 | 備考 |
|-----|----------------|-----------|-----------------|
| マッチ | ライターでも可 | スポンジ | ×金たわし不可 |
| 軍手 | 滑り止めがないもの | クレンザー | 粉タイプ（頑固な汚れ用） |
| 新聞紙 | 牛乳パック等でも可 | 洗剤 | |
| ふきん | 食器用・台拭き用 | アルコールスプレー | 食器用 |
| うちわ | ※「炭」の火おこしの場合のみ | お皿・スプーン | 紙皿・プラ容器等 ※コロナ対応 |



※ 焼き肉の場合： Tongue・バーベキュー用あみ60cm×90cm以上 / 焼そばの場合：鉄板

活動の流れ（カレーづくり展開例）

①全体説明（指導員が全体説明を行います。）

②準備（3つの役割分担について）

【食材係】センター職員が同行します。

- ① 食堂へ食材を取りに行きます。
 - ② 食材がそろっているか確認しましょう。
 - ③ 食材を洗います。
 - ④ 食材を切ります。（包丁を使用）
- ☆食材は小さく切っておきましょう。
☆カレーのルーも刻んでおくと、溶けやすくなります。

＝ ごみの処理について ＝
班毎に「お米が入っていた袋」に
ごみを入れる

↓
水色の指定ごみ袋にまとめる

【食器係】団体指導者が誘導をお願いします。（事前説明あり）

- ① 指定された場所から調理用具セットを受け取ります。
 - ② 調理用具セットがそろっているか確認しましょう。
 - ③ 調理用具を洗い、アルコールスプレーをします。
- ※当センターでは、クレンザーコーティングは行いません。

【かまど係】センター職員が説明を行います、必ず団体指導者が指導をお願いします。

- ① 薪を所定の場所で受け取ります。（センター職員が同行、案内します）
- ② 薪割りの説明を聞きます。
- ③ 薪割りを行います。（なたを使用・平たい場所で場所を指定するとよい）
- ④ 薪を組みます。（新聞紙・牛乳パック等の使用推奨）
- ⑤ 火をおこし、点火します。（ご飯の準備ができたタイミングで）

③ 調理

【カレー】

- ① 野菜はなるべく小さく切ります。
肉は袋の上から手でほぐしましょう。（細かく切っております。）
- ② 鍋に食材を入れ、水を入れる。（野菜が浸る程度）
- ③ 火にかけましょう。
- ④ 具材に火が通り、柔らかくなっていたらルーをいれる。
（にんじんで確かめると良い）
- ⑥ ひとにたちしたらできあがり。

【ごはん（白米）】

※ 無洗米のため研ぐ必要はありませんが、気になる方はサッと洗ってください。

- ① お米をライスクッカーに入れます。
- ② 米の表面に中指をまっすぐ立てて、第二関節まで水を入れます。
- ③ ふたをして火にかけます。
- ④ ふたの周りから白い泡が出てきます。あわてないように。
- ⑤ 泡が出なくなったら、中身を確認しましょう。
- ⑥ 水気が無くなっていれば、火からおろし、蒸します。

④ 食事

- カレーが出来上がったタイミングで、食堂裏口に「サワーヨーグルト（乳酸菌飲料）」を受け取りに行きましょう。（食材係）

⑤ 片付け・自主点検チェックポイント

【貸出備品】

| 道 具 | チェックポイント |
|--------------------------|--|
| 食器、スプーン | ・ぬめりがないか ※現在はコロナウイルス対策で団体が用意する |
| 包丁 | ・穴にルーがついていないか |
| まな板 | ・においがしないか ・ぬめりがないか |
| 大鍋、ライスクッカー （やかん ※使用時） | ・ぬめりがないか ・よごれがないか ・すすが付いていないか（鍋の裏側、取っ手の付け根など） |
| ボウル、ざる | ・よごれが付いていないか |
| しゃもじ | ・ぬめりがないか ・すすで汚れていないか ・お米がついていないか |
| お玉 | ・ぬめりがないか |

- ◎ 洗った道具は、ふきんで水気をしっかり取って、テーブルに並べておきましょう。

【洗い場】

- ① 流しや排水溝に生ごみなどは残っていませんか
- ② 洗い場などにクレンザーがついていませんか
- ③ 地面に、ごみは落ちていませんか

【かまど】（指導者）

- ① 火が消えたら、スコップで灰捨て場に灰を運びます。
- ② 煙が出なくなるまで、灰捨て場に水をかけましょう。
※ 絶対に直接かまどへ水をかけない。
- ③ かまどに残った灰をほうきを使って、掃き掃除してください。

⑥センター職員による点検（食器点検）

【研修生】

- ◎ 洗った道具の水気を、ふきんでしっかり取って、グループのテーブルの上に並べたら、点検準備の完了です。職員が来るのを待ちましょう。職員の姿があるときは、声をかけてください。

【指導者】

- ◎ 各グループの片付けが概ね終わりそうになったら、電話（番号は下記参照）で、または直接事務室に点検ができる旨を伝えてください。
⇒内線（１１７） ／ 外線（０９２－９４７－３５１１）


食器点検の実施

- ◎ 点検に無事「合格」したら、調理用具セットの返却をお願いします。（食器係を中心に協力して運びましょう）
- ◎ 調理用具セット返却が終われば、活動終了です。指導者の指示に従い、忘れ物のないように次の活動場所へ移動しましょう。

【注意事項】

- ・ 水などで濡れた軍手は使用しないように注意をお願いします。
- ・ 活動中は野外炊飯場内をむやみに走らないようご指導をお願いします。
- ・ 指導者は必ず全体を把握できるようにしておいてください。指導者も事前に役割分担をし、安全に活動できるように努めましょう。
- ・ 片付け、食器点検合格までが「野外炊飯」活動です。研修者への事前の指導をお願いします。次の利用団体に「美しい」道具と野外炊飯場をつなぎましょう。

N-2 ナイトハイク

| | | | | | | |
|---|---|------------|-----------|--|-------------------------------|---------------------------------|
| 概 要 | 夜の自然の様子や風景を楽しみ、自然の新たな一面を発見しながら歩く活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | ◎ | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | ○ | | | |
|  | | | | | | |
| H P 詳細へ | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | センター周辺、裏山 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | | 人数 | 200 名程度まで可能 1 グループ 5 ～ 8 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 晴天時推奨 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> おばけ変装道具 | | | | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備）</p> <p>（1） 実施方法、コースを把握する。 →コースについては、特に指定はありません。団体で選定して実施となります。</p> <p>（2） コースの下見、指導者の役割分担を行う。</p> <p>（3） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ）</p> <p>（1） 昼間に同じコースを歩き、景色や様子を観察する。 →昼間の活動と同時に行ってもよい。（スコアビンゴ等）</p> <p>（2） 「ナイトハイク」の実施 ※「肝試し」をされる場合は、事前に人員配置や道具の設置等が考えられます。</p> <p>（3） 活動を振り返る</p> <p>3 事後（片付け）</p> <p>（1） 人員の確認、健康観察</p> <p>（2） 用具等の返却</p> <p>（3） 終了の報告</p> | | | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 必ず歩いて下見を行い、危険箇所、担当者配置場所などを当日の活動実施までに確認してください。また、参加者に合ったコースを選定してください。</p> <p>○ センターの敷地内は坂や滑りやすい箇所も多いです。事前の安全指導をお願いします。</p> | | | | | |

変装道具




かつら:2つ メガネ:3つ お面 :5つ リボン:1つ



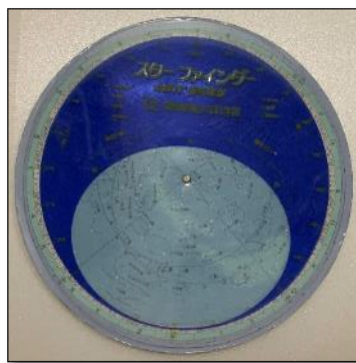
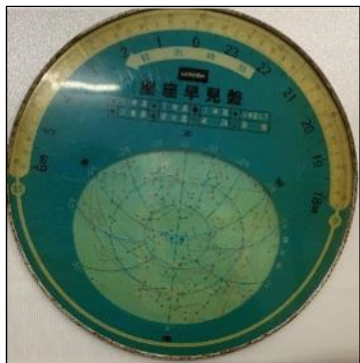
※数に限りがありますので、ご希望のものがありましたら、お早めにご連絡をお願いします。

N-3 星空観察

| | | | | |
|--------|--|-------------------------------|--|--|
| 概 要 | 星の観察を通して、自然界の移り変わりに触れたり、その雄大さや神秘さを感じたりする活動 | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | ◎ | | | |
| | 歴史文化に親しむ | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | ○ | | |
| 条 件 | 場所 | (館内) 講堂、研修室等 (館外) たけのこ広場 等 | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | 人数 | 120 名程度まで可能 ※星座早見盤の最大貸出数 |
| | 時期 | 通年 | 天候 | 晴天時推奨 (一部雨天時も可) |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | 団体が準備するもの | |
| | <input type="checkbox"/> 星座早見盤 (最大120個) | | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 等 <input type="checkbox"/> DVD※ | |
| 展 開 | <p>1 事前 (当日までの準備)</p> <p>(1) 実施方法、流れを決める。 ※センター職員による星空観測の指導は、現在行っておりません。道具の貸出、準備等は支援できます。ご相談ください。</p> <p>(2) DVD 等の準備をする。 ※センター内「福岡県視聴覚ライブラリー」にてビデオや DVD を借りることができます。貸出しについては事前確認及び予約が必要です。</p> <p>2 活動 (当日の流れ)</p> <p>(1) 会場の準備を行う。 →準備については、センター職員も支援できます。ご相談ください。</p> <p>(2) 館内で、星座早見盤の見方を学んだり、DVD などを鑑賞したりして、その季節の天体の様子や星座について知る。</p> <p>(3) 「星座観察」の実施 野外に出て、星座早見盤を頼りに、星座を観察する。</p> <p>(4) 振り返りをする。</p> <p>3 事後 (片付け)</p> <p>(1) 会場の復帰、用具の片付け (2) 用具の返却、終了の報告</p> | | | |
| 実施の留意点 | <p>○ 天候により実施の可否が変わりやすい活動です。天候の状況や月齢など気にかけておきましょう。また、実施不可の時の活動プログラムの計画を忘れずに行ってください。</p> <p>○ 懐中電灯の使い方については安全指導をお願いします。</p> | | | |

N-3 星空観察資料

星座早見盤



※ 約 40 cmのものも 1 つあります。(写真右)

観察できる天体・星座

| | |
|----|---|
| 春期 | 北斗七星（おおぐま座）・春の大三角形（しし座・うしかい座・おとめ座） 春の大曲線（からす座）・こぐま座 |
| 夏期 | 夏の大三角形（はくちょう座・わし座・こと座）・さそり座・春の大三角形 |
| 秋期 | 秋の四角形（ペガサス座）・アンドロメダ座・夏の大三角形・カシオペア座 M31（アンドロメダ大星雲） |
| 冬期 | プレアデス星団（おうし座）・ぎょしゃ座・ふたご座・カシオペア座 冬の大三角形（オリオン座・おおいぬ座・こいぬ座） |

※その他、時期により火星・金星・土星などの天体も観察できます。

※夜間は冷え込みますので服装にご注意ください。




夏の大三角形



北斗七星

N-4 火おこし体験

| | | | | | |
|--------|--|----------------|----------|--|----------------------------------|
| 概 要 | 昔からの手法での火おこし体験を通して、先人の生活の知恵と苦勞を体験し、火の大切さを学ぶ活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ | |
| | ○ | | ◎ | | |
| | 歴史文化に親しむ | 知識 | 創意・工夫 | | |
| | | ○ | | | |
| 条 件 | 場所 | あじさい広場、野外炊飯場 他 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | 1 ～ 2 時間程度 | | 人数 | 60 名程度まで可能 1 グループ 6 ～ 1 0 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可 |
| 準備物 | センターが貸し出すもの | | | 団体が準備するもの | |
| | □火おこし器（舞切り式、ファイヤースターター） □発火用空き缶 □切り出しナイフ | | | □水筒 □タオル □軍手 □麻ひも □ヒキリ板 □新聞紙 | |
| 展 開 | <p>1 事前（当日までの準備） （1） 実施方法、準備物を把握する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 活動グループの組分けを行う。</p> <p>2 活動（当日の流れ） （1） 火おこし方法の説明、安全面の諸注意 → センター職員が行います。直前に内容の最終確認をお願いします。</p> <p>（2） 「火おこし体験」の実施 ①火おこし器を上手く回転させて、火種をつくる。 ②火種をほぐした麻ひもに移し、発火缶の中に入れて振り回し、発火させる。 ③その火を新聞紙等に移して、大きくする。</p> <p>※この後、「野外炊飯活動」に移行すると、熾した火を活用でき、達成感がより高まります。</p> <p>（3） 振り返りをする。</p> <p>3 事後（片付け） （1） 火の後始末 （2） 用具の回収、返却 （3） 終了の報告</p> | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 火を扱ったり、発火の際は缶を振り回したりします。安全の確保と事前指導をお願いします。 ○ キャンプ道具の「ファイヤースターター」を使った火おこし体験もできます。ご相談ください。 | | | | |

N-4 火おこし体験資料

ヒキリ板の作り方

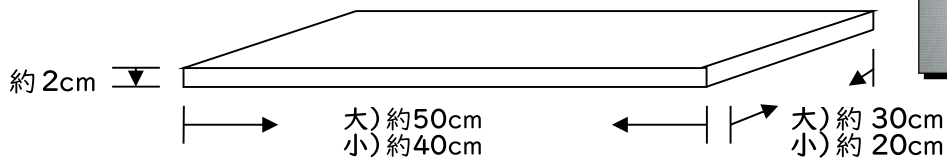
(火起こし器の土台となる板のこと)

① 大きさの違う板を2枚用意する。下の図は目安となる大きさです。

例：大)縦:約30cm×横:約50cm×厚さ:約2cm

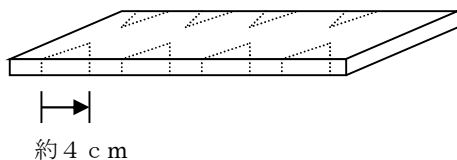
小)縦:約20cm×横:約40cm×厚さ:約2cmの板を用意する

※ヒキリ板(スギ・マツ・ヒノキなどの古材を使用する)

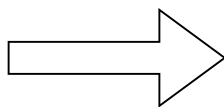


この部分を作ります。

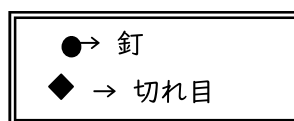
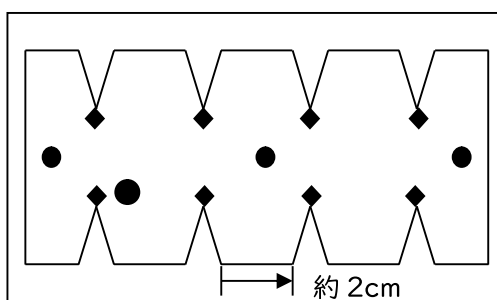
② 小さい方の板を下の図のようにのこぎりで三角に切り取る。



③ 切り取った三角形の頂点の部分に彫刻刀などで切れ目を入れる。



④ 加工していない板に釘で打ち付ける。



←※上から見た図

完成!!



発火用空き缶

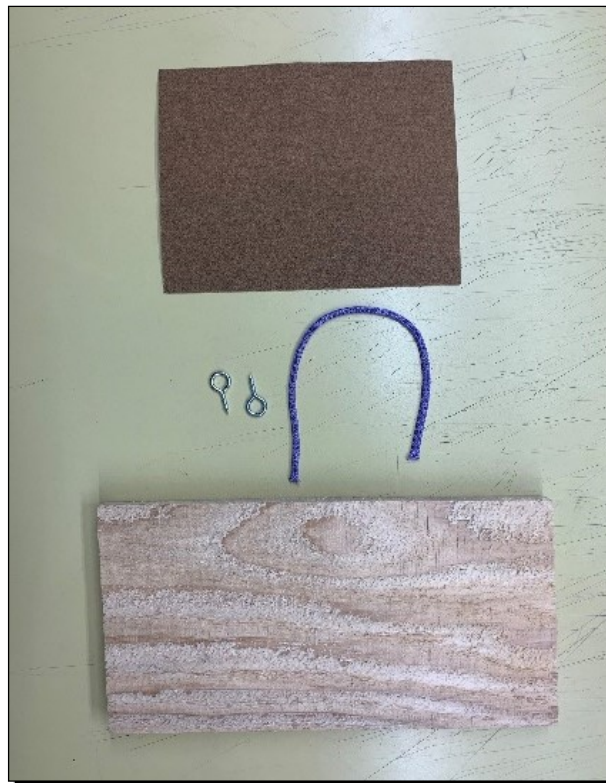


実際の活動の様子

C-1 焼き杉工作

| | | | | | | |
|--------------|--|--|-----------|---|----------|---------|
| 概 要 | 杉板を焼き、磨き上げることで材質の変化の面白さを味わい、さらに手を加えることでオリジナリティあふれる作品をつくる活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | |
| | ○ | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | | | ◎ | |
| QRコード 準備中 | | | | | | |
| 条 件 | 場所 | あじさい広場、たけのこ広場 他 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ2～3時間程度 | | | 人数 | 100名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | 焼杉セット 250円／1人分、ごみ袋（大） 150円 ヒートン・ひもセット 80円 | | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しているもの | | | 団体が準備するもの（共通） | | |
| | □バーナーヘッド □たわし □はさみ □耐火レンガ □ラジオペンチ □きり □「センター」焼き印 | | | □教材代 □軍手 □ガスボンベ（1缶10人分程度） □筆記用具 □新聞紙 □ごみ袋 □古布、タオル等（磨き用として） □ポスカなど絵具 □木工用ボンド | | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1）ねらいや活動の流れを決める。 （2）材料、道具等の準備をする。（要事前注文） | | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1）材料、道具等の確認、作り方の手順について、諸注意（安全面）等の説明→ センター職員が行うことができます。 （2）「焼き杉工作」の実施（基本的な流れ） ①材料、道具等を配る。 ②杉板をガスバーナーでまんべんなく焦げ目がつくように焼く。 →軍手を着用し、安全に実施すること ③表面の焦げやすさをたわしで擦り落とし、古布や新聞紙で磨き上げる。 ④ポスカなどの絵具で絵や色をつけたり、焼き印（要相談）を押したりして、作品として仕上げる。 ⑤金具をねじ込み、最後にひもをつける。 3 事後（片付け） （1）不要なものや用具を片付け、活動場所の清掃をする。 （2）お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 （3）用具の返却、終了の報告 | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ ガスバーナーを扱います。事前には安全指導、作業時は軍手の着用、周囲整理整頓するなど、安全に気をつけて実施をお願いします。 | | | | | |

C-1 焼き杉工作資料




焼き杉セット



焼き杉工作 作品イメージ(例)

C-2 古代ペンダントづくり（勾玉）

| | | | | | |
|--------|--|--------------------------------|-----------|---|--|
| 概 要 | 古代の人々の文化に触れ、高蠟石を削り、形の変化を楽しみながら勾玉のペンダントをつくる活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | ○ | | ○ | ○ | |
| 条 件 | 場所 | あじさい広場、たけのこ広場 他 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ2～3時間程度 | | 人数 | 100名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | 古代ペンダントセット 250円／1人分、ごみ袋（大）150円 | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | |
| | □はさみ □鉛筆 □掃除道具 □洗面器 □工作板 □マジックペン | | | □教材代 □新聞紙（1人1枚程度） □雑巾 □汚れてもよい服装 □ごみ袋 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 勾玉の作り方、活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 材料、道具等の準備をする。（要事前注文） | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） 用具の確認、作り方の手順について、諸注意（安全面）の説明 → センター職員が行うことができます。 （2） 「古代ペンダントづくり」の実施（基本的な流れ） ①材料、道具を配付する。 ②マジックや鉛筆で、高蠟石に勾玉の形を下描きし、削る所を明らかにする。 ③紙やすりを使い、大胆かつ繊細に不要な部分を削り取り、イメージした、勾玉の形をつくっていく。 ④形ができたら、水を入れた洗面器の中で、水やすりを使って、表面が滑らかになるまで、磨き上げる。 ⑤雑巾で水気を取り、ひもをつけ、首から下げられるようにする。 3 事後（片付け） （1） 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 （2） 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 石を削ることで細かい粉が出ます。汚れてもよい服装で活動してください。また、必要に応じて、マスクを着用してください。 ○ 高蠟石は大変割れやすい石です。取り扱いに注意してください。また、割れることを考慮し、人数より多めに注文することをおすすめします。 | | | | |

C-2 古代ペンダントづくり資料

準備物



〈貸出物品〉

- ・はさみ・マジック・えんぴつ
- ・洗面器・工作板



〈売店で購入〉

- ・古代ペンダントセット

◎団体の準備物

- ・新聞紙

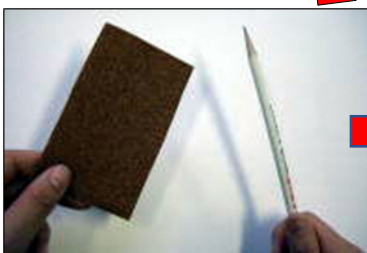
作り方



完成をイメージして、
下絵をかきます。



下絵に合わせて、ヤスリで
どんどん削ります。



勾玉の内側のカーブは、鉛筆にヤスリを巻き付けながら削ると、
きれいに削れます。

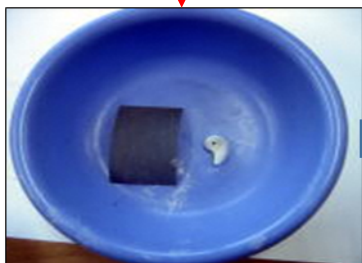


下絵に合わせて削ったもの



角を削って、丸くしてい
きます。

玉のように丸く削れたら・・・




洗面器に水を貼り、水ヤスリに水を付けながら、勾玉がツルツル、ピカピカになるまで磨いてい
きます。

紐を付けて・・・



完成!!

C-3 プラホビー（プラ板工作）

| | | | | | |
|--------|---|--|-----------|--|--|
| 概 要 | プラスチックシートに思い思いに絵を描くことの楽しさ加熱することによる材質の変化を楽しみながら、自分だけのキーホルダー等をつくる活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  H P 詳細へ |
| | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ○ | |
| 条 件 | 場所 | 実習室、美術室、第5研修室 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ1～2時間程度 | | 人数 | 100名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | プラ板（B4判） 1枚170円、Gリング 1個70円 ごみ袋（大）150円 | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | |
| | □はさみ □オーブントースター □パンチ（一穴） □カッターマット □ピンセット □ラジオペンチ □こて | | | □教材代（必要に応じて） □軍手 □クッキングシート（またはアルミホイル） □マジックペン（油性） □ごみ袋 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） プラ板の作り方、活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 材料、道具等の準備をする。（要事前注文） （3） 研修生に下絵の準備をさせておく。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） 用具の確認、作り方の手順について、諸注意（安全面）の説明 → センター職員が行うことができます。 （2） 「プラホビー」の実施（基本的な流れ） ①プラ板に油性マジックで好きな絵や文字を描き、色を塗る。 ②はさみで、多少の余白を残しながら、絵の周りの不要な部分を切り取り、好きな形にする。 ③パンチを使って、金具を取りつけるための穴を開けておく。 → プラ板の端から5mm付近がちょうどよい。 ④クッキングシート（アルミホイルでも可）を敷いたオーブントースターの中に入れて加熱する。 ⑤プラ板の変化が収まり、平らになったら取り出す。 ⑥平らな台の上で、プラ板をこてで押さえ、形を整える。 ⑦Gリングを取り付ける。 3 事後（片付け） （1） 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 （2） 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 刃物や発熱する用具を扱います。また、焼いてすぐのプラ板は大変熱いです。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。 ○ プラ板は失敗することを考慮し、人数より多めに注文することをおすすめします。 | | | | |

C-3 プラホビー（プラ板工作）資料

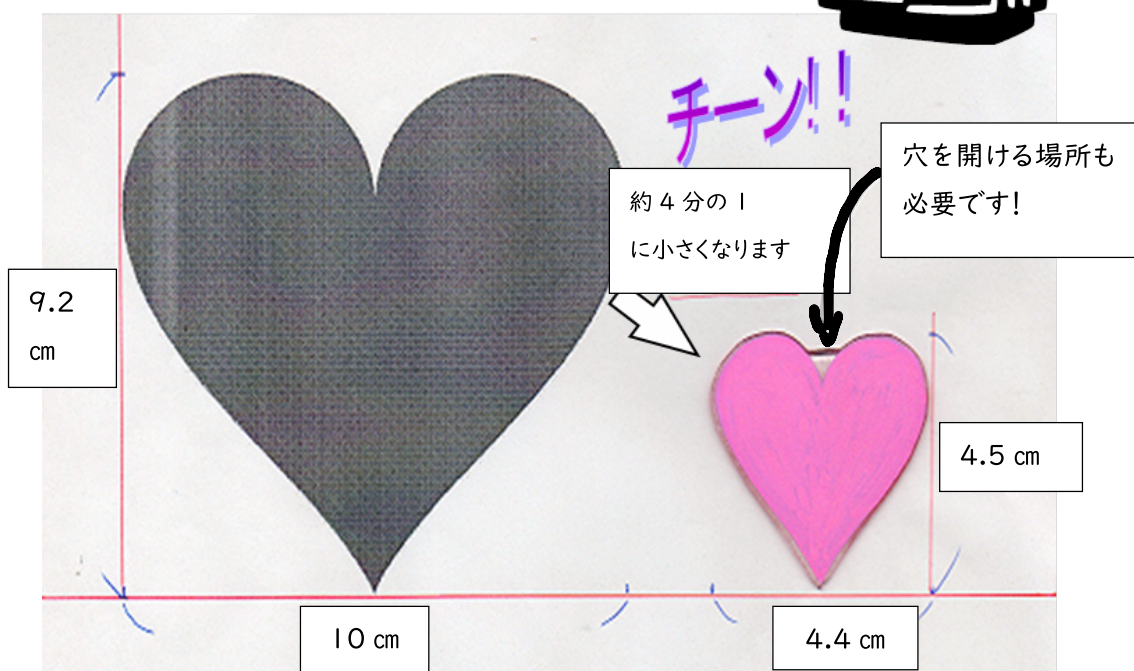


〈貸出物品〉


オーブントースター：5 台
 こて：3 っ
 はさみ：46 本
 一つ穴パンチ：10 個
 カッターマット：163 枚
 ラジオペンチ：7 っ
 ピンセット：11 個
 ※貸出数には限りがございます。



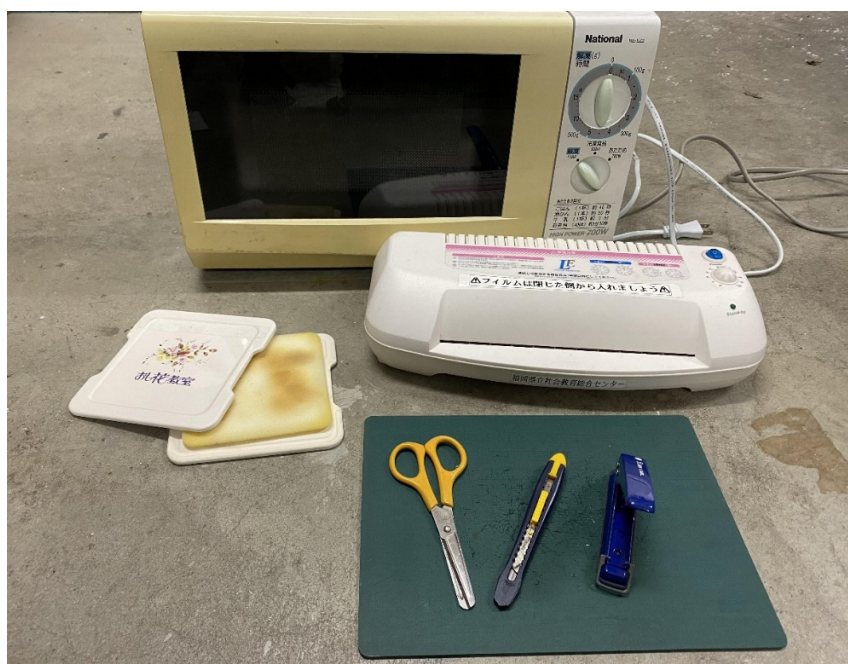
プラホビー作品イメージ



C-4 しおりづくり（押し花パウチ）

| | | | | | |
|--------|--|---|-----------|--|---|
| 概 要 | 四季折々の草花を使うことによって、季節を感じ、その良さを生かしながら、思い思いのしおりをつくる活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  HP 詳細へ |
| | ◎ | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ◎ | |
| 条 件 | 場所 | 所外→実習室、美術室 等 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ１～２時間程度 | | 人数 | 100 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | ラミネートフィルム はがきサイズ 1 枚 40 円、定期券サイズ 1 枚 30 円 ごみ袋（大） 150 円 | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | |
| | □はさみ □カッター □押し花製作器 □ラミネーター □電子レンジ □パンチ（一穴） □カッターマット | | | □教材代（必要に応じて） □しおりにはさむもの（自然物等）□軍手 □台紙（色紙） □リボン □ごみ袋 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （１） 押し花、しおりの作り方、活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （２） 材料、道具等の準備をする。（購入計画など） （３） 採取予定地の事前踏査（下見）を行い、素材採集の準備をする。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （１） 材料の採集について、作り方の手順について、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等）の説明 → 内容に応じて、センター職員が行うことができます。（要相談） （２） 「しおりづくり（押し花）」の実施（基本的な流れ） ①裏山や施設周辺で、素材採集をする。 ※事前に行ったフィールド活動中に採取しておくことも可能。厚みのある草花はラミネーターを通らないので、注意が必要。 ②大きさを整え、押し花製作器にはさみ、電子レンジで加熱する。 ③台紙に押し花を貼ったり、周りに好きな絵や文字を描いたりする。 ④台紙をラミネートフィルムにはさみ、ラミネーター差し込む。 ⑤出来上がったカードにパンチで穴を開け、リボンをつける。 | | | | |
| 実施の留意点 | 3 事後（片付け） （１） 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 （２） お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 （３） 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 貸出道具等の使用については、使用方法を守って大切に扱ってください。 ○ 季節によって採集できない自然素材もあります。また、山や森の草木をむやみに折ったり切ったりしないでください。 | | | | |

C-4 しおりづくり資料




〈貸出物品〉

押し花制作器：4 台
ラミネーター：2 台
電子レンジ：2 台
一つ穴パンチ：10 個
はさみ：46 本
カッター：34 本
カッターマット：163 枚

※貸出数には限りがございます。



C-5 紙すき体験（はがきづくり）

| | | | | | |
|--------|--|-------------------------------|-----------|---|---|
| 概 要 | 紙を漉くという体験を通して、先人の知恵に触れ、紙のつくり方を学ぶとともに、牛乳パックの再利用からリサイクルの意識を高める活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  紙すき H P 詳細へ |
| | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | ○ | | ○ | ○ | |
| 条 件 | 場所 | 実習室、美術室、第5研修室 等 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ3～4時間程度 ※完成までには時間を要します。 | | 人数 | 100 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | ごみ袋（大）150円 | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | |
| | □カセットコンロ □鍋 □ミキサー □紙すき器 □紙すき用容器 □洗面器 □アイロン □アイロン台 □カッターマット | | | □牛乳パック （1L入り牛乳パック…はがき3～4枚） □ガスボンベ □新聞紙 □タオル □ごみ袋 | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） （1） 紙すき、はがきのつくり方、活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） （2） 材料、道具等の準備をする。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） （1） 作り方の手順について、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等）の説明→ センター職員が行うことができます。（要相談） （2） 「紙すき体験（はがきづくり）」の実施（基本的な流れ） ①牛乳パックをはさみで開き、不要な個所を切り取る。 ②鍋で30分程煮る。 ③牛乳パックの両面に貼ってあるポリエチレンをはがす。 ④牛乳パックを細かくちぎり、ミキサーにかける。 → 一度にたくさん入れても、上手くできません。少しずつミキサーにかけましょう。 ⑤どろどろになったら、紙すき用容器に入れて、紙すき器を使って紙をすく。 ⑥机の上にタオルを敷き、その上に紙すき器をひっくり返して置く。 ⑦型を外し、水気を取る。 ⑧アイロンでよく乾燥させる。 | | | | |
| 実施の留意点 | 3 事後（片付け） （1） 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 （2） 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 貸出道具等の使用については、使用方法を守って大切に扱ってください。 | | | | |

C-5 紙すき（はがきづくり）資料



〈貸出物品〉

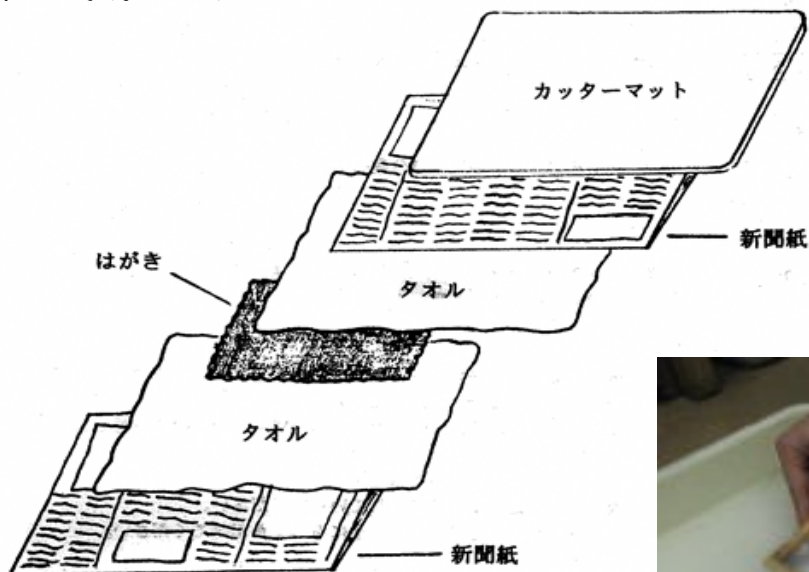
紙すき器：46 台 カセットコンロ：10 台 鍋：7 個 洗面器：113 個

ミキサー：7 台 はさみ：46 本 紙すき用容器：12 個


カッターマット：163 枚 アイロン：5 台 アイロン台：2 枚

※貸出数には限りがございます。

図1 水分のとりかた



C-6 キャンドルづくり

| 概 要 | | ろうの性質を利用して色や形を変え、自分なりのキャンドルをつくる活動 | | | |
|--------|--|---|-----------|---|--|
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 |  キャンドル作り HP 詳細へ |
| | | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | ○ | ◎ | |
| 条 件 | 場所 | 実習室 等 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ2～3時間程度 ※完成までには時間を要します。 | | 人数 | 40名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | パラフィン 1kg 1850円 (10～15人分) ※ろうを細かくした素材 ロウソクの芯 3m 420円 (25～30人分) ごみ袋 (大) 150円 | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの (共通) | |
| | □カセットコンロ □鍋 □お玉 □カッター □千枚通し □容器 □抜き型 | | | □ガスボンベ 軍手 □新聞紙 □紙コップなど容器 □割りばし □着色料 (クレヨン、粉絵具等) | |
| 展 開 | 1 事前 (当日までの準備) (1) キャンドルのつくり方や活動の流れを確認する。 (2) 材料や用具等の準備をする。 | | | | |
| | 2 活動 (当日の流れ) (1) 作り方の手順等の説明、諸注意 (安全面) → センター職員が行うことができます。 (2) 「キャンドルづくり」の実施 (基本的な流れ) ①パラフィンを湯せんで溶かし、液体にする。 ②液体状のろうに、着色料を混ぜ、色をつける。 ③準備した容器に、割りばしを使って芯をセットする。 ④容器の中に、液体状のろうを流し込む。 ⑤完全に固まるまで、平らなところへ置いておく。 ※どんなキャンドルをつくるのかは指導者にお任せします。容器を工夫したり、色を複数使ったりすれば、オリジナリティを出すことが可能です。事前に研修者に伝え、用意させておくとうよいです。 ※活動後、「キャンドルのつどい」を開催し、振り返り時に自分で作ったキャンドルを灯す活動も考えられます。 3 事後 (片付け) (1) 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 (2) お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 (3) 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ カセットコンロを扱います。熱したろうでの火傷等も想定されます。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。 ○ 換気も十分に行いながら、活動を実施してください。 | | | | |

C-7 キャンドル作り資料



〈貸出物品〉

キャンドル用容器:37 缶
 カセットコンロ:10 台
 鍋:7 個
 おたま:23 本
 カッター:34 本
 千枚通し:11 本
 抜き型:各種
 ※貸出数には、限りがございます。



↑抜き型各種

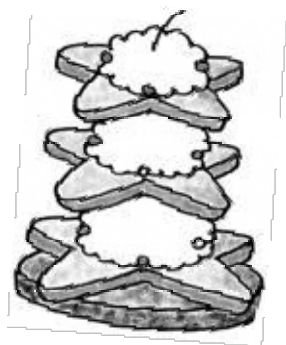
～作品例～



ブロックキャンドル



ケーキキャンドル



キューブキャンドル



ツリーキャンドル

※作成するキャンドルの種類によって、作り方や所要時間、準備物が異なりますので、事前にご相談ください。

C-7 森のクラフト（自然物を生かした工作活動）

| | | | | | |
|--------|---|------------------------------|-----------|---|---------|
| 概 要 | 小枝や落ち葉、どんぐりなど山や森にある自然の素材の特徴を生かし、発想力や想像力を働かせて作品を作る活動 | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | 課題克服・達成感 | |
| | ◎ | | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | 創意・工夫 | |
| | | | | ◎ | |
| 条 件 | 場所 | 所外→研修室 | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ1～3時間程度 ※別途、素材集めの時間も必要 | | 人数 | 100名程度 |
| | 時期 | 通年 | | 天候 | 全天候実施可能 |
| 料 金 | ※売店にて、工作に必要な様々な物品や部品を事前注文、購入ができます。 (別紙参照・要相談) | | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | |
| | □はさみ □のこぎり □小刀 □カッター □グルーガン □はけ □延長コード（必要に応じて、要相談） | | | □自然物（前もって準備するとき） □筆記用具 □ごみ袋 □新聞紙 □各種消耗物品（マジック、ボンド等） | |
| 展 開 | 1 事前（当日までの準備） (1) ねらいや工作内容を決める。（職員との打合せ、相談、随時受付あり） ※工作内容については、いくつか提案できます。別紙参照。 (2) 活動の流れを決める。（素材採集→工作・作業→片付け→振り返り） (3) 事前踏査（下見）を行い、素材採集の準備をする。 | | | | |
| | 2 活動（当日の流れ） (1) 材料の採集について、作り方の手順について、諸注意（安全面、制限時間、集合場所 等）の説明 → 内容に応じて、センター職員が行うことができます。（要相談） (2) 「森のクラフト」の実施（基本的な流れ） ①裏山や施設周辺で、素材採集をする。 ※事前に行ったフィールド活動中に採取しておくことも可能。 ②集めた素材やその他の材料から、作品完成のイメージをもつ。 ③発想力や想像力を働かせて、思い思いに作品を作る。 | | | | |
| 実施の留意点 | 3 事後（片付け） (1) 不要なものや用具を片付ける (2) お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 (3) 用具の返却、終了の報告 | | | | |
| | (ア) 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 (イ) 刃物や発熱する用具を扱うことがあります。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。 (ウ) 季節によって採集できない自然素材もあります。山や森の草木をむやみに折ったり切ったりしないでください。 | | | | |

C-8 森のクラフト 内容案

案1：葉り絵工作

季節の落ち葉、木の実、枝などを採取し、グルーガンやボンドを使って、キャンバスや画用紙に張り付けて作品をつくる活動



「葉り絵工作」準備するもの

- ☐ごみ袋（150 円） ☐自然物 ☐木工用ボンド
- ☐グルースティック ☐ニス（防腐剤）
- ☐ビニール袋（自然物入れとして）
- ☐キャンバス（ベニヤ板・ダンボールなど）

案2：葉っぱのブローチ

植物の葉を採取し、グルーガンで葉の形や模様を写し取り、ブローチをつくる活動



「葉っぱのブローチ」準備するもの

- ☐ごみ袋（150 円） ☐植物の葉（みかんの葉など） ☐新聞紙 ☐造花ピン ☐水性ニス
- ☐グルースティック（1 つにつき 1～2 本）
- ☐アクリル絵の具 ☐絵筆（小筆 推奨）
- ☐水入れ容器 ☐パレット（紙皿でも可）
- ☐ハンドクリーム（必要に応じて）

案3：石の変身（ストーンアート）

自然に落ちている石の形や特徴を生かして、色を塗ったり組み合わせたりして作品をつくる活動



「石の変身」準備するもの

- ☐アクリル絵の具 ☐筆 ☐水入れ
- ☐パレット（紙皿など使い捨てが好ましい）
- ☐雑巾 ☐グルースティック（1 人 1～2 本程度）

案4：自然アート

自然物を組み合わせたり、色を塗ったりして、置物やキーホルダーなどをつくる活動



「自然アート」準備するもの

- ☐ごみ袋（150 円）
- ☐G リングやヒートン等（必要に応じて）
- ☐材料（どんぐり、台木、枝・葉など）
- ☐油性ホワイトマーカー ☐マジック
- ☐グルースティック ☐新聞紙

案5：ささぐりドリームキャッチャー

木の枝と毛糸を使い、ドリームキャッチャーをつくる活動

「ささぐりドリームキャッチャー」準備するもの

- ☐ごみ袋（150 円） ☐木の枝（2 本以上）
- ☐毛糸（様々な色があるとよい） ☐結束帯（必要に応じて）



C-8 紙飛行機づくり

| | | | | | | |
|--------|--|--|-----------|-----------------------------------|----------|--------------|
| 概 要 | 紙飛行機を何度も飛ばして試したり、よりよく飛ばすために工夫したりして自分なりの紙飛行機づくりに挑戦する活動 | | | | | |
| ねらい | 自然に親しむ | | 仲間づくり・協調性 | | 課題克服・達成感 | QRコード 準備中 |
| | | | ○ | | ○ | |
| | 歴史文化に親しむ | | 知識 | | 創意・工夫 | |
| | | | ○ | | ◎ | |
| 条 件 | 場所 | 研修室→所外、体育館 等 | | | 対象 | 小学生以上 |
| | 時間 | およそ１～２時間程度 | | | 人数 | 100 名程度 |
| | 時期 | 通年 | | | 天候 | 全天候実施可能 |
| | 料金 | ごみ袋（大）１５０円 〔（必要に応じて・事前注文）※紙飛行機セット 一つ３４０円〕 | | | | |
| 準備物 | センターが貸し出しできるもの | | | 団体が準備するもの（共通） | | |
| | □はさみ □メジャー □ストップウォッチ | | | □A4 判コピー用紙 □折り紙 □ごみ袋 □マジックペン 等 | | |
| 展 開 | <p>１ 事前（当日までの準備）</p> <p>（１） ねらいや工作内容を活動の流れを確認する。（職員との打合せ、相談、随時受付あり）</p> <p>（２） 材料の準備をする。（印刷ミスなど不要になった A4 用紙でも可）</p> <p>２ 活動（当日の流れ）</p> <p>（１） 作り方の紹介、諸注意（安全面、制限時間、活動場所 等）の説明 → 内容に応じて、センター職員が行うことができます。（要相談）</p> <p>（２） 「紙飛行機づくり」の実施（基本的な流れ）</p> <p>①思い思いに紙飛行機を折る。 ※いろいろな折り方を紹介できます。</p> <p>②試行錯誤しながら、よりよい紙飛行機を完成させる。</p> <p>（３） 「紙飛行機記録会」の実施 → 「距離」「滞空時間」などで、記録を取る。 ※記録会の持ち方を工夫すれば、より楽しく自発的に活動できると考えます。例えば、個人戦はもちろん、団体競技のようにグループでの活動にすれば、話し合いや励まし合いが活発になり、仲間づくりにも生かれます。</p> <p>３ 事後（片付け）</p> <p>（１） 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。</p> <p>（２） 用具の返却、終了の報告</p> | | | | | |
| 実施の留意点 | ○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 ○ 飛ばすことができる場所は限られています。事前にお問い合わせください。 | | | | | |

○教材等価格表（令和４年８月１日現在）

２階 売店（レストラン前）で取り扱っています。

「食数・教材申込票」による「事前注文」での販売となります。ご了承ください。

| 品名(内容・量・備考) | 単価(円) | 品名(内容・量・備考) | 単価(円) |
|-----------------------------------|-------|--------------------------------|-------|
| キャンプファイヤーセット (薪、枕木、衣装等貸出含む) | 1200 | パラフィン（ロウソクの素） (1kg・10～15人分) | 1850 |
| キャンドルのつどいセット (ロウソク、燭台、衣装等貸出含む) | 950 | ロウソクの芯 (2.5m・20～25人分) | 420 |
| 古代ペンダントセット (高ろう石、紙やすり2種、ひも) | 250 | 焼杉セット (杉板、ヒートン、やすり、ひも) | 250 |
| プラ板 (B4判1枚・4～6人分) | 170 | ヒートン・ひもセット (やすり付・予備として) | 80 |
| Gリング (キーホルダ金具・1つ) | 70 | ラミネートフィルム (はがき判・1枚) | 40 |
| ガスボンベ（1本） | 240 | ラミネートフィルム (定期券判・1枚) | 30 |
| 薪（1束） | 400 | 炭（6kg） | 1050 |
| 炭（3kg） | 540 | 炭（10kg） | 1640 |
| 紙飛行機キット（1セット） | 340 | もえるごみ袋（大・1枚） | 150 |
| 凧キット（1セット） | 720 | もえるごみ袋（小・1枚） | 100 |
| 砂絵キット（1セット） | 340 | もえないごみ袋（1枚） | 15 |
| うちわづくりキット (1セット) | 570 | 空き缶・空き瓶用ごみ袋（1枚） | 15 |
| | | ペットボトル用ごみ袋（1枚） | 15 |

◎料金は税込です。単価につきましては変更の場合もございますので、あらかじめお問い合わせください。

☆キャンドルのつどい・古代ペンダント・焼き杉・プラホビー・しおりづくりを荒雨天プログラムとして計画し、当日が晴天のために実施しない場合、返品（キャンセル）することが出来ます。それ以外の教材については買い取りになります。

☆「工作キット」も取り揃えております。ご検討ください。

☆野外炊飯活動で使う薪や炭は、レストランで食材を注文された場合、食材費に含まれています（薪はグループに1束、炭は人数による）。上記は「単品」または、「追加」注文時の価格です。

野外活動中の安全対策

— 事故を未然に防いで楽しい活動にしましょう —

野外活動は、自然の中での活動のため、安全上の注意を怠ると大きな事故につながりかねません。安全管理対策をしっかりと行いましょう。

基本的な考え方

- 1) 余裕のない活動計画では、参加者が疲労や注意力不足の状態となり、事故やケガにつながります。無理のない計画を立てましょう。
- 2) 下見や施設職員との事前打合わせは必ず行い、可能な限り危険を想定した、安全・安心な活動に努めましょう。そのために引率者間の連携・共通理解が大切です。
- 3) 子どもたちにとって野外の活動は、危険を予知したり回避するための能力を身につけたりする絶好の機会です。「危険だからやめなさい」ではなく、どこがどのように危険なのか、どうしたら危険を回避できるのかを考える機会をつくり、自分の身は自分で守る意識を持たせましょう。

危険な要素

- 1) 動植物
毒ヘビ、ハチ、ムカデ、マダニ、ハゼ、ウルシなど
ハチやハゼが多いポイント（P4にあります）※ポイント以外にも出現あり
- 2) 活動技術・地理的条件
なれない自然道で転ぶ、足をくじく、道に迷う、急斜面、岩場、狭い山道など
- 3) 用具の活動技術
ナタやナイフによる切り傷、野外炊飯やキャンプファイヤーでのやけどなど
- 4) 指導者側の過失
無理な計画、下見の未実施、引率者間の共通理解不足など

事前にしておくこと

- 1) 綿密な計画立案及び安全上のチェック
- 2) 下見の実施と施設職員との打合わせ
* 下見のポイント
〔コース及びエリアの確認、想定される危険と対処方法、引率者の配置
緊急車両の手配と輸送経路の確認、医療機関の確認〕
- 3) 救急医薬品の準備 装備の消費期限も確認しましょう
* 救急セット（例）
〔傷口を洗い流す水（ペットボトル）、体温計、消毒薬、絆創膏、三角巾、包帯、ガーゼ、サージカルテープ（ガーゼを止めるテープ）、湿布、生理用ナプキン、とげ抜き、虫よけ、抗ヒスタミン軟膏（かゆみ止め）、テーピングテープなど。※使用期限も確認しましょう。〕
- 4) 参加者への連絡
常備薬の持参、活動に応じた服装の着用（帽子、長袖・長ズボン、スズメバチ対策として白っぽい服装）、保護者の緊急連絡先の把握

事故や傷病者が出たら

慌てずに周囲の状況や事故者の様子を把握し、冷静な判断をしましょう。状況に応じては、各団体の判断で救急車を要請してください。また、事故対応後、事故の状況を社会教育総合センター（TEL 092-947-3511）にお知らせください。

『スズメバチ』・『マダニ』に注意！

スズメバチに刺されないため

スズメバチは春先から秋（9 月がピーク）にかけて多く発生します。刺されないために、次のことを注意してください。

- きずなの森（裏山）、米の山、若杉山、樹芸の森に入るときは、白っぽい服装にする
- 帽子をかぶる、首のまわりにタオルを巻くなど首や顔・頭を保護する
- きつい香水はつけない
- スズメバチが飛んできたなら、騒がずにしゃがんで体勢を低くし、
飛び去るのを待ち、速やかにその場を離れる
- コースを外れてしげみに入らない（どこに巣があるか分からない）

スズメバチに刺されたときの対応



- ① 針が残っていれば抜く
- ② 水で刺傷部のまわりを洗い流す
- ③ 保冷剤や氷で冷却する
- ④ 刺傷部の軽い腫脹や発赤程度であれば、各団体で病院へ連れて行く

最寄の病院：篠栗病院（092-947-0711）／篠栗町大字尾仲 94

＊ ただし下記の症状が見られたら、救急車を要請してください！

アナフィラキシーショック

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 意識消失○ 呼吸困難○ 血圧低下（脈が低い） | } 人工呼吸と心臓マッサージ実施 (AED は第 1 事務室にあります) |
|--|---|

— 以下の症状も上記の症状へ移行する可能性があり、注意が必要です —

- 全身に^{じんましん}蕁麻疹や^{ふしゅ}浮腫（むくみ）が見られる
- 激しい下痢、嘔吐、頭痛

→ 以前にスズメバチに刺されたことがある人、アレルギー体質の人は 1 時間以内（早ければ 10 分以内）に上記の症状が出現することが多い。

また、このような症状が出た場合には、自力歩行せずに早急に医療機関へ搬送してください。

マダニによる感染症の注意

- 森林や草むらなど、マダニが多い場所で活動する際には虫除けスプレーを使いましょう。また、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌の露出を少なくしましょう。
- 活動中、体や衣服にマダニが付着していないか確認しましょう。
- 吸血中のマダニに気がいたら自分で取らずに受診しましょう。
- 森林や草むらなどで活動後、発熱や下痢、嘔吐などの症状が現れたら、病院で受診しましょう。



病院案内図



福岡県救急医療情報センター(24 時間病院紹介)

電話：#7119 (092-471-0099)

※夜間や日曜・祝日はまず左記へ電話してください。

| | 診療科 | 病院名 | 診療時間 ※受付時間と異なる場合があります | 電話番号 (092) | 住所 | 備考 |
|---|-------------------|--------------------|---|---------------|---------------------------------|-------------------|
| A | 救急 | 篠栗病院 | 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00 | 947-0711 | 〒811-2413 篠栗町大字尾仲 94 | 小児対応不可 マムシ血清有 |
| B | 救急 | 福岡青洲会病院 | 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:30 | 939-0010 | 〒811-2316 粕屋町長者原西 4-11-8 | |
| C | 整形外科 | 片井整形外科 内科病院 | 平日 9:00~17:30 土曜日 9:00~12:30 | 938-4860 | 〒811-2302 粕屋町大隈 132-1 | 土午後・日祝は 急患のみ受付 |
| D | 内科 | 三野原病院 | 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00 | 947-0040 | 〒811-2402 篠栗町金出 3553 | 小児対応 不可 |
| E | 内科 小児科 消化器科 | やまのファミリー クリニック | 月火水金 8:00~18:00 木 土 8:00~12:30 | 947-0310 | 〒811-2405 篠栗町篠栗 4857-17 | |
| F | 眼科 | はら眼科クリニック | 月水金 9:00~18:00 火木土 9:00~12:00 | 957-4141 | 〒811-2405 篠栗町篠栗 4915-2 | |
| G | 歯科 | うえむら歯科医院 | 平日 9:00~19:00 土曜日 9:00~13:00 ※第3土曜日休診 | 947-6990 | 〒811-2413 篠栗町尾仲 425-1 | |
| H | 皮膚科 | 木村ひふ科 クリニック | 月火木金 9:00~18:00 水曜日 9:00~12:30 土曜日 9:00~16:00 | 957-4129 | 〒811-2413 篠栗町尾仲 510-1 | |
| I | 耳鼻 咽喉科 | 毛利耳鼻咽喉科 クリニック | 平日 9:00~18:30 土曜日 9:00~16:00 (水午後・日曜祝日休診) | 931-4187 | 〒811-2413 篠栗町尾仲 513-1 | |
| J | 脳神経 外科 | たかさき脳神経 外科クリニック | 月火木金 8:45~18:00 水 土 8:45~12:30 | 931-5222 | 〒811-2413 篠栗町尾仲 101-2 | |
| | 内科 歯科 小児科 | 粕屋中南部 休日診療所 | 日祝・お盆・年末年始 9:00~17:00 | 652-3119 | 〒811-2501 久山町大字久原 3168-1 | |
| | 内科 小児科 | 福岡市 急患診療センター | 平日 19:30~6:30 土曜日 19:00~7:30 日曜・祝日 9:00~7:30 | 847-1099 | 〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1-6-9 | |

